



第1症 おっとなんだこれは？ブログとはなんぞや？

まったくもって最初は意味がわからなかった。

ウェブログ・・・といわれてもなんだかなあ・・・今では中学生いや小学生でもやっているのにブログがはじまったころは略してブログといわれてもいつのまにか人を殴っていそうな感じすらしていた。

私はなぜか・・・ほぼなにも考えずに当時はKDDIといていたその昔の国際電信電話会社を電話回線を新たに選ぶ際に電話機購入と同時にはいっただけであった。もしかするとその時に使っていたPHSとの関係もあったのかな・・・と思いつつも、もう過去のことは思い出せない。

要するにその場できめて加入しただけなのだ。単純にネット回線が必要だったということに過ぎず難しいことは考えなかったのだ。なにしろその当時は光回線もまだまだ特殊な状況であり、ADSLの普及も始まって2,3年という状況だったのだ。

回線の安売り合戦やサービス内容の勝負とかいう状況でもなく、どこの会社の回線が一番落ちないのかという程度の選択に過ぎなかった。

KDDIがADSLの起爆剤となった今は亡き東京メタリック通信のバックボーンをやっていたのは知っていたから、まあ間違いのない選択になるはずだとはわかってはいた。

そしてホームページ開設をする状況になり、様々なことを試していた時期にもなっていたのである。

最初は自分の仕事用から初め、そして自宅回線から他社の無料サーバーを借りて、当時所属していた草野球チームのホームページを立ち上げるようなことにもなっていた。

気が付くと草野球のホームページがなぜかプロバイダーで紹介されるようなことが起こりアクセス数は大爆発状況になっていった。

当初はNIFTY そしてとどめはヤフーだ。気が付くと5年でアクセス数はなぜか通算で1000万を超し、おどろき桃の木状態になっていった。

そしてプロバイダーのKDDIがブログサービスを始めた。まあただだからちょっとやってみようかな・・・まあホームページを作成することが結構大変だったから、まあ要するは手抜きが結構きっかけにもなっています。

当初はランキングもアクセス数も、もう何も考えず、だいたい個人のブログへのアクセス数などはまあ単なる自己満足に過ぎないと思っていた。（今でもそう思っています。）

それがまあ適当に書いていくうちにその記事そのものがGOOGLEなどにインデックスされている状況になり、記事に中身があり、それがその時のネット上の「知りたい欲求」にはまるとアクセス数は理解できない数字になったりもしました。私は無名の人間なのでこの状況はまったくもって新鮮かつ驚きでした。

気が付くとちょっとはまっていく状況になっていきました。

ものすごいアクセス数があるわけでもありませんが、本人はまあ大満足状況となり、最近では「読んでいます」という

方に出会うようになってきています。

まあそんなことが起こるのは、このブログが単純に無料であり商売はないということがはっきりしていること、そして何よりもブログ人口が増大していることにあるのだろうと思います。ということで、まあ読んでみてくださいな。

ただし私の思い込みや勝手な判断や、その他もろもろ不備は当然あるのであらうと思います。所詮素人のつぶやきということなのでしょう。

人に日記を見せるという状況が夏休みの日記はまとめて派であった私にはまあ本当に新鮮。結構面白い。だがまあそれだけです。

どうやら2004年8月23日がブログをはじめた日のようだ。

いまではツイッターなどに消されていきそうな感じもあるがあれでは日記にもならない。そりゃそうだつぶやきだからだ。両方をうまくつかいこなすと楽しいかもしれないというのが現在の状況だがブログの方があとで過去を何気に振り返る時に役にたちそう。

この日の写真はなんとナイト上野だな。夜の動物園を楽しもうという企画だ。ちなみにこれは最高に楽しい企画であった。アルマジロを初めて触ったのはこの写真をとった日だろう。

このころは8月15日を中心としたお盆の頃だけうやっていたのかそれとも8月はすべてやっていたのかわからない。

上野動物園のサイトに行けばわかるかもしれないが、まあそこまでは・・・手抜きは重要だ。

そう適当な手抜きや息抜きがブログの真骨頂なのだ。日記は気合が入りすぎると続かない。

夏休みの日記帳は提出をなんとかごまかすか8月31日に一気に書くのが基本のはず。（おいおい）

まあけどブログは結構たのしい。いまだにだ。

何気に家にいても外とつながっているし、新たなつながりも出来たりする。

もしかするとこれはネットからの最高のプレゼントなのかもしれない。

ブログは商売にするな！といいつつもまあそれもありだな。というのが世の中だろう。

だが普通のおっさんは商売にしたりすることはない。

当たり前だが常識がそれを邪魔するのだ。

文章を売るのはプロの仕事。おっさんのブログは仕事ではない。特に表現でもない。

まあ暇つぶしの時間つぶしのそれこそ「下手の横好き」だ！

まあトライアル好きのおっさんは新たなものに手を出すのにはこれが一番なのかもしれない。

人生の記録の一部といったところか・・・・・・だけどブログの裏でつながる今や過去の人間関係は実はかなりおもしろい。ブログはネット上だけではないということにも気が付かされている。

文章は荒いがまあご愛嬌ということで許せ！

某有名漫画の警察官の本の上での出版話に近いところが電子出版、いや電子書籍のいいところなのだろう。

だいたいにおいて売るには無理だろう。ただのブログだから人がみるのだ。

友達作りを楽しむ。意見を言ってみる。なかなかできないことが可能になったことがブログのおおきな功績だろう。

中学、高校時代の親友とも再会できたり、大学時代に一緒にバンドやった同輩や後輩から連絡があったりといった本当に優れたテクノロジーだ。

何気に東京と広島でお互い覗くようになっている方とも裏でつながっているような感覚を覚えたり、ペットを飼えない環境の人間がペットと毎日出会うような感じにもなるのがこのテクノロジーの凄さだろう。

ネットのお散歩がブログなのかもしれない。

ちなみにこの日の文章は

世にはやりつつあるBlogというものをはじめてみようとして手を出しました。適度につくっていけばそのうち分かるだろう。趣味的なことを適度に記載していこう。

というものだ。要するになにもわかっていないがプロバイダーの「ただ」サービスをちょっと使ってみようという感じなのだ。

きっかけはなんでもいいのだ。それが下手の横好き。

2004年8月25日から8月27日、近鉄撤退決定もこの辺りだったのか

8月ということもあり結構のんきな話題が多い。不思議と8月は写真が多いのも特徴だ。
多摩動物公園の怠惰なカンガルーと歩きが止まらないレッサーパンダに続きジル・ヴィルヌーヴ
のミニチャンプ製マシンのダイキャストモデルなんかを載せている。

8月25日

お天気がとても変です。一瞬の大雨。俺の徒歩通勤時間を狙われたかのようだった。

ロシアでは謎の飛行機墜落同時2機・・・恐ろしいですねえ。

オリンピックが開催されているギリシャでも「11月17日」（だったかな？）というテロリスト
グループがいるそう。うまく市民生活に溶け込み、かつ、ギリシャ人の気質や世論にあった動
きをするらしくまったく謎の集団とされている。心配されていたテロがまったくないのは実は裏
でかれらのようなテロリストグループがうまく立ち回っているからかもしれない。というよりも
ギリシャという国の国民自体が反米的立場（トルコにおける米軍基地の存在に反発している事実
がある）であるということもある。

要するに現在のテロの中心となっている組織からテロを受けることがありえない国のようだ。ヨ
ーロッパの社会情勢はとても読みづらいものがある。イギリスの新聞が警備の不備について書き
立てていたが、これはIRAに対するからみがあるということもありそう。 （詳しくはフリーマン
トル著「ユーロ・マフィア」に出ています。新潮文庫。ちなみにこの本はとても面白いです。ス
パイ関係や国際関係、特にゴルゴ13が好きな人にはとてもお薦め。）

今振り返るとゲリラ豪雨という言葉はこの辺りが初めてなのかもしれない。ユーロマフィアもそ
ういえば読んでいたなあ。だが初めて読んだのは、このときの4年前あたりだろう。横浜へ仕事の
打ち合わせに行く東海道線の中で読んだ覚えがある。・・・記憶がもどってきた。

このときはギリシャはテロの話題があったのか・・・ギリシャオリンピックがこの辺りなの
だな。時間が経ちギリシャび話題は経済危機で、次にもし世界恐慌となればその発信源はギリシ
ヤとなる状況が今はある。

公共事業など最終的には何の役にもたたない・・・要するに誰かが持っていつてしまうのだ
、ということは洋の東西を問わず行われているのだなということの証左だろう。

2004年8月26日

仕事がはかどらない時は世間の人たちはどうしているのだろうか？

私は1台のパソコンにDVDをしこみそのまま音も出さずに画像のみを流しっぱなしにして、仕事用
のパソコンにCDを突っ込み、学生気分です仕事をします。CD,LPの類は在庫おそらく2000枚か
ら3000枚程度かな・・・（もう2度と聞くこともないものが大量にありそうだ！。）

今日はジャコ・パストリアス大特集状態。頭の中でヘッドフォンをはずしても音が回り続けている
状況です。しかしうまいなあ！やっと少しコピーできたが、完コピは至難の業引くたびに違っ
てくる。ああジャコ様一体あなたはどのくらい練習したのでしょうか？今日はひたすらウェザー

・リポート時代のCDを聞きながら仕事をがんばろう・・・・・・・・

とまあこの記事に載せている写真がなんとレッサーパンダ。　まだまだブログの黎明期なのだろう。のんきなものです。しかしこのときはジャコ・パストリアス奏法マスターにいそしんでいたころなのだろうか？おそらくこのときは結構引けるようになっていたはずだ。まあ下手は下手だが知らぬ人が見るとハイテクプレー！とまあ、軽くトリックスター状態！

2004年8月27日

27日の記事1

今日からいよいよベルギーグランプリが始まる。ミニカー収集&模型製作という趣味を持つ私にとってはなんとも最高の週末だ。あいかわらずフェラーリが強いのだろうが、我らが佐藤琢磨選手はこのグランプリが開催されるスパフランコルシャンを得意としており、もしかしての期待がある。

レースが荒れて生き残ればいけるかも・・・・・・・・

そんな週末です。しかし最近ミニカー買ってないな。模型も作っていない。というわけでこのブログをきっかけにまた作ろうと思う今日この頃なのだ

このときの写真がミニチャンプス製のジル・ヴィルヌーヴ最後のマシン。それもサンマリノグランプリ仕様だ。プレミアがこのときでもついており売価の3ないし5倍以上の値段が付くようなこともあった覚えがある。

ほしかったら10万円で売ってあげる！（冗談だよ）まあF1は琢磨選手がとてつもない輝きを見せた年だった。カナダではもう少しでポールが取れた。しかし時間はたってしまった。

27日の記事2

近鉄の3年後の撤退が決まったようだ。撤退するぐらいなら身売りをすべきだと思うが・・・・一体どうなっているのだろうか？年間の赤字が40億円らしいけれどもどういう意味の40億円なのかはいまだに不明だ。相当客数の水増しがあるのだろうことがこのことから分かる。収入を見誤っているわけだから経営が成り立つわけがない。どうやって選手の年棒を計算しているのだろうか？中村選手を引き止める必要なんかないのではないかとFA騒動当時も思ったが今は当時以上にそう感じる。広島経営を見習った方がいいのではないかと思う。ベ이스ターズも去年は赤字だったようだが原因は働かないFA選手の年棒が第一の原因だ。FAでメジャー移籍を年棒交渉の材料にする奴はとっととメジャー行ってください。まあその程度の根性でメジャーで通用するわけないだろうが。

まあこれこそ懐かしい話になっている。2007年撤退は結局は合併球団のユニフォームのそでに近鉄のロゴが2007年まではいっていただけの話。まあなんとも人を小馬鹿にしたような話でもあった。

とまあFA選手の金寄せの態度に対して、選手に対して憤りをみなが感じていた年でもあった

ようだ。

しかしなんだかわずか数年前の話が遠い昔に感じられる。どおりで年をとるわけだ。

2004年8月29日から31日まで 模型だな、ベルギーGPだな、なぜかアフリカ象だ。

まずはアホ丸出しおっさんの面目面目躍如という記事がでてきた。

2004年8月29日

さあてどれをつくろうかな？（この時の写真はタミヤのプラモとタメオのホワイトメタルキット）

未制作の模型が実は大量にあります。おそらく優に100以上です。中心はF1のプラモなのですが、それに留まらず1/43のホワイトメタルキット（結構大変）1/24や1/20のレジンキット・・・・1/20フルメタルというキットもあります。ホワイトメタルというのはハンダ（ハンダというものも今ではもう分からないかもしれないが・・・電気製品を作るときに半導体を基盤につけたりするためのものです。電気用の接着剤かな。半田ごてで溶かして自然に冷えると固まります）とよく似た性質をもつ金属です。融点（溶け出す温度）が低いので変形させやすいのでキットに用いられます。1/43（手の平サイズ）のミニカーで2万から5万のものは大体このホワイトメタル製のものが多いです。レジンというのは歯医者さんが口の中の型を取って差し歯や入れ歯をつくるときに使っている型を取るためのものです。加工しやすいです。当然プラモはプラスチックですね。写真はタミヤのプラモ2台とTAMEOというイタリアのメーカー製のホワイトメタルキットです。さあ作るぞ。ついでにホンダ&琢磨選手ガンバレ！トヨタも頑張れ！

まあ過去に違うサイトでも公開していますがまあプラモの数は尋常ではありません。

今は亡き恵比寿のミスタークラフトでまあ買いました。バーゲンで。都内は本当に模型屋が死滅状況に近づいている。どこで買えばいいのなの状況。ヨドバシカメラで買うしかないのだろうか？まあだがそのうち復活するだろう。

これって案外、政策次第なのだ。日本復活には数学と指先器用が大事だからだ。

ようやくバブルの誤りが修正されるのかもしれない。とまあ関係のないことから思わず考えるであった。

2004年8月30日

ベルギーグランプリ明けかな。ライコネンのセンス爆発。琢磨はマーク・ウェバーに突っ込まれたらしい。

ベルギーグランプリ

大荒れのベルギーグランプリだった。しかし久しぶりにみたね止まっている車に追突。ジョーダンのパンターノはいくらなんでもセンスがない。ミナルディはこのときのブルーニと、バトンが右リアタイヤをバーストさせた時にバウムガートナーが巻き込まれた・・・大損害ですな。

琢磨選手はマーク・ウェーバーに突っ込まれオールージュの出口で大スピンそのままタイヤなくなりリタイア。しかしミシュランはよくバーストしました。だめだこりゃといった感じかな。ライコネンのドライビングセンス爆発のレースだった。シューマッハーは余裕の戴冠。この後に放送されたフォーミュラニッポンも面白かった（というこかここ2,3年はF1よりも面白い。ただし遅いけれど・・・）オリンピックのマラソンは過去F1妨害したアイルランド人宣教師だったみたいですね。性懲りもなくよくやるよ。写真はキミ・ライコネンMP-17(ちょっと古いかミニ・チャンプス製) マクラーレンには北欧の人間が似合う。

このときはまだ**MP4-17**なのか……今は**25**かな。ライコネンは今は**WRC**そして琢磨はいない。時の流れは無常にも流れていくのだ。思い出したなコース上を走っていくあほな親父。はねられるようなことがあったら世界中にスプラッター状態だったはず。コースで抗議活動するなよ。とまあオリンピックでもやっていたのだなこの親父。うーん懐かしい。

2004年8月31日

多摩動物公園の営業時間延長時のことだな。いやまあ本当に動物園はよくいったなあ。

気分はアフリカ！！アフリカ象だ。多摩動物公園だ。今年の夏、多摩動物公園の時間延長期間中に久しぶりにいきました。遅い時間なので動物君達はお帰りの時間になり始めました。ところが、象さんたちは頭がよいので、帰宅時間に合わせて小屋に入れろとさげんでいました。一頭づつ入れるのですね。小象のマオちゃんは後ろ姿だけでした。象君達の凄いところはカメラを向けると演技してくれたカメラ目線になってくれるところかな。アジア象は結構お年なのですが周りに人が集まるといろいろやってくれます。必ずと言っていいほど楽しそうに踊りだします。みんな感情があるのですね。自然に囲まれた中で暮らしてみたいというのは人間の奢りだとは思いますが、あこがれます。

うーんのどかだ。また行きたいなあ。まあ生きていたいなあ、とまあ、おいおい、おっさん。

2004年9月4日から7日あたり、プロ野球が一番もめた頃。ストライキもあったがF1もおもしろい。

まあ読み返してみると、このあたりはほとんど・・・まあ・・・プロ野球が反省したという事実が残った。

正直、今考えるとオーナー側が何も考えていないとか、コミッショナーの天下り体制とかそして何よりも成績に全く見合わない給料を要求しまくっていた選手の存在だとかまあ、一気に問題点大爆発ということのようだ。

あとはF1。やっぱり佐藤琢磨選手の年だったのか・・・・・・・・・・・・・・・・

9月4日

何気に横浜ベイスターズの問題点についている。今も同じようなことをやっている。

外国人選手の養成や途中入団で年棒の安い選手を・・・・・・・・だが最下位。ぶっちぎりのなんだか変わらないね。あ！それ以上にファンが変わらない・・・・・・・・まあ弱小の特徴なのかもしれない

ベイスターズ勝利

佐伯、ウッズ両選手のアベックホームランとセドリック投手の好投で勝利。シーズン前を考えるとウッズは契約更改でチャンスに打てない事を指摘され年棒を抑えられた。佐伯選手はトレードの噂が流れ続けていた。セドリックはシーズン途中での来日。養成選手としての扱いで年棒は800万円ぐらいだったと思う。そのうえ獲得に際しては某横浜監督が「現場は養成選手はいらない、即戦力が欲しい」とほざきまくっていた。結局セドリックは思わぬ大活躍。スカウトが大健闘している状況だ。トレードされたドミンゴ・グスマンも大活躍。ということは現在の低迷の責任は・・・・・・・・。現実にベイスターズが負けるときは監督が変な采配をするとき、球団社長が選手の気持ちを考えない発言をするときが多い。なかなか今のプロ野球の現状を表していて面白い。「野球は会議室でやるんじゃない、グラウンドでやるものだ！！」なんてね。（ちょっと引用すみません）写真は佐伯選手、おとしのファン感謝デーで近くを歩いていた時に撮ったものです。ベイスターズファン以外の方はご存知ではないかも知れませんが、球場で一番盛り上がるのが佐伯選手登場の時です。何かやってくれそうな感じがするし、勝負にかける執念がチーム1,2を争う感じがするからだと思います。子供のファンは種田選手のガニマタが大好きです。（私も彼の全ての瞬間に全力をつくす姿勢が大好きです

種田選手だ！なつかしいなあ。

しかし彼のような独特な選手がいなのが今のベイスターズの問題なのだろう

2004年9月5日

夏のある日

_____ やっと、殺人的暑さも終わりを告げたようですね。今年は本当に大変だった。こんなときはやはり水族館ですね。新江ノ島水族館に行ってきました。ミナゾウ君は今回は見損ねましたが、改築されて初の入場ということもあり結構楽しめました。テーマは相模湾ということもあり近海の海を模したかのような中央の大きな水槽内部は日本を感じさせる雰囲気です。入場料はちょっと高めなのですがパスポートは2400円、近場の方にはまあまあお勧めですね。都内から行く私にとってはそう何度もいける場所ではないのでちょっとためらってしまったのですが・・・写真は中央水槽のエイです。なかなか見事でした。甚平ザメもいるは、イワシの集団はいるはでなかなか見ごたえ十分です。イルカショーもなかなかお茶目です。（イルカは沖縄が一番インパクトがあったなあ。）まあ精神的涼しさを求めるならば水族館へいきましょう！

この年も暑かったのか・・・覚えていないが江の島水族館へ行きたい、できれば毎日・・・

2004年9月5日

イタリアグランプリ

フジテレビ放映後のものだけでも掘り出すといくらでもでてくる出てくる。しかし90年代初期の頃と今のF1はもの別物ですね。敏捷性という部分では今のF1には到底かなわないですね。とはいえいろいろなドライバーがいたあの時代がなつかしい。

いまでも存在させている個人ホームページ作成の中の話に触れているだけ。

まあ足掛け7年も続くというのも意外と自分ではないみたいだ

この次からがこの当時の大問題へ突撃していく。天下りの問題がプロ野球にもあった。コミッショナーが天下りだった。もうどうにも止まらない！

2004年9月7日

ストライキはやめてくれ！

週末のささやかな楽しみ、プロ野球観戦がない！こんなことは信じられないことだ。もう傍から見ているとお互い完全にかみ合っていないわけだから組織完全解体でもよいのではと思ってしまう。売店の人やその他野球場にかかわって生活している人のことも考えているのだろうか？なかなか芽が出ない下積みの選手や力をつける前の若手選手のことは考えているのだろうか？今回本当にストライキが起こればただでさえ人気が落ち始めているプロ野球人気に決定的打撃を与え

るのではないだろうか？少子化ということもあり今人気が落ちれば他のスポーツにとって変わられてしまうかもしれない。（オリンピックでサッカーが惨敗してよかったね、五輪代表の皆様いくらもらえば金メダルとれるのかなあ？・・・あ、監督があれじゃあな・・・解説もろくにできない奴がよく監督代行なんてやったもんだ！中畑は永久追放だ・・・言い過ぎかな）いずれにせよ私はこの泥試合が正直もう、うっとおしい。問題点はT氏、M氏、S氏、N氏そして近鉄のバカ社長（他の不動産事業、リゾート開発の失敗もあるのにね。ようするに売却しないのは他の失敗を隠すためなのだろうけれどね・・・サラリーマン根性が染み付いた大バカ者だ！！）らの全くファンの気持ちが理解できない（お客さんの気持ちがわからない経営者って馬鹿そのものだと思うが・・・いやな連中だ。私はこれらの企業のかかわった品物はやむを得ない場合を除き絶対に購入しないし、仕事においてもかかわらない、西武鉄道なんか誰が乗るか・・・とはいえこの電車に乗らなければならないときがあるのが悲しいです。）また古田を操る選手会事務局長や彼らを支える弁護士軍団の青臭い正義感（というよりもこいつらは単なる金の亡者なのだろう）私は古田の言っていることは到底支持できない。自分達の事しか考えていない（権利の主張のみで義務を果たしているのか高額年棒選手どもめ・・・FAで大金つかんで働いたのは、駒田大先生、阪神の金本選手、近鉄の加藤投手ぐらいかな他に見当たらない・・・2年に一度しか働かないのは問答無用で評価なし）ファンや周りで野球界を盛り上げるために働いている人のことなどまったくわかっていないだろう。大体一番最初に損害賠償のことが話題にしている段階で正義を感じない。自分達は傷つかず周りにはかまわないということになっていることに気がついていないし、それに対するケアもあるのかどうかもはっきりさせていない。メジャーは高額年棒選手がこのようなときにはしっかりお金を払いまわりには迷惑がかからないようにストライキをやるそうだが。表面的なことのまねはできても本質を見誤っている。今回のことで無期限ストの権利があり損害賠償の対象にもならないのはバッファローズとブルーウェイブの選手と球団職員、そしてその周りの人達だけだと思う。大体普通の人間の生涯賃金を半年から2,3年で稼ぎながら試合に出てこない連中の無責任さを問わずにストライキとはなんだこりゃ？シーズン終了後、ヤクルトが古田の首を切ればすべて完了してしまうだけの話だろうこれは。12球団の維持や2リーグ制度の維持を目指すのならば自分達で球団を作る努力と普段からファンサービスにつとめろ。経営者はあまりにも傲慢、選手はあまりにも思い上がりすぎ、これが今回の騒動の一番の問題だろう。一から組織を作り直してプロフェッショナルと言える状況にするのが一番。サッカーと同じで読売は野球から手を引け！読売新聞など永遠に私は読まない。ロッテのお菓子も2度と食べない。オリックスから金は借りない、リースも組まない、西武と近鉄には乗らない、関連施設にも行かない。系列の百貨店等では買い物をしない。とはいえ個人でやっても限界があるのだろうけれどね。（笑）あーあ、11日のチケットもらったのにガッカリだよ（う、個人的なことが怒りの原因か・・・小物の私）何気にはなく、ほんとに小市民な私・・・本当に小物だ。

2004年9月8日から・・・プロ野球の団交とやっぱりF1なぜか野球のリストラ、懐かしい

プロ野球の団体交渉で裁判所の判決が出た日だ。本当に懐かしすぎる。

今、考えると実は一番の問題は選手側の問題・・・

特に怠慢プレーや本当にプロ？的行動が問題だったのでは？と思えてくる。

入場者数が伸びていなかったのは選手も経営側も努力をしなかったからと判断してもいいのでは？

とまあ実はの部分を知ることになることになる日々のわけだ。

いずれにせよ、まあ2004年秋はプロ野球の呆けが最高潮だったわけだ。

それとあとで気がつくバトンと佐藤琢磨選手のポイント差ということになるのかな。

見返すと面白い。だがそれは自分にとって・・・にしか過ぎない。

9月8日

プロ野球の重要な日

今日、一気にいろいろなことが決まるらしい。東京高裁は今日8日選手会が労働組合に該当するかどうかの判決を下す。もし組合に該当しないということになれば12球団足並みそろえたストライキはおそらくできないだろう。当然損害賠償の対象になるわけで、根本的に選手契約に直接関与する選手以外のスト参加は合理性をもたなくなる。逆に認められれば一気にストになだれ込む可能性もある。ただし現実には野球場にお金を払って見に行く層の人にとってはストライキは的外れにしか感じていないのではないかと思う。ファンのためなら、一体彼らはファンに何をしてくれるのか？よく一部の選手がファンに夢を与えるなどとほざく連中がいるが、その前にお金を取って見せるプレーをしっかりとやっているのかと問い詰めたくなる。守れない打つだけのDHが億単位の金をもらったり、でれば打たれるどこかの高額年棒投手などは一体どのように考えているのか・・・一般の人間で一生懸命普通に生きている人達の気持ちなんかわからないのだろう！

経営者側は今日の会議で合併問題について結論を出すみたいだが、経営が成り立たないならその点をはっきりさせてほしい。球団は独立採算を前提にすればよいではないか。親会社はしっかりとその球団に名前をつけておくことについての広告費として堂々と払える分だけを出せばよいのではないか？赤字補填などということがまかり通るのがおかしい。赤字を出せば球団幹部は解雇等のきびしい条件で、本当に野球が好きで生きている能力のある人に球団経営をゆだねればよいと思う。そこで本当のことがいろいろわかってくるのではないか？

いずれにせよ私はストライキは絶対反対、というよりもふざけるなといいたい。金持ちが何やってんのかなあ？というのが偽らざる気持ちだ。ハングリーさが無い今のプロ野球、だから面白くないし視聴率もさがりし入場者も増えないの。全ては身から出た錆にすぎない。

やっぱり今も気持はあんまり変わらない。選手の一部と経営の思い上がりが原因だったのだ。

今の日本経済の縮図がプロ野球にすでにあらわれていたわけだ。

メジャーに行って成果が出なくとも日本があると思ってはいけない。

やっぱり日本もレベルは高いのだ。真剣に身の程を考えろといまだに言いたくなる。

だから地上波放送がないのだ。

9月8日-2

抗告棄却

東京高裁が選手会の抗告を棄却した。ということは合併反対を主目的としたストライキは完全に違法状態になる。やれば損害賠償だ。さあどうする選手会。一生懸命いまからでもファンサービスをやり手抜きのないプレーをしてください。年棒に見合わない働きの時は無制限のダウンに応じなさい。そのかわりやったらほしただけ要求すればよいではないか。プロであるのもかわらず固定給に固執するのはみっともない。実力なきものがしがみつくと世界であってはいけない。経営者もしっかりと経営内容を公表し社会の公器として期待される組織を作っていただきたい。巨人におんぶにだっこではなく真におもしろい野球チームをつくり緊迫した真剣勝負を提供してほしい。野球が好きな人達は本当におもしろいプレーや凄い選手がいれば球場に足を運ぶのはイチロー選手や新庄選手が証明しているではないのか？選手や球団が親会社から甘やかされすぎたつけが今まわってきているだけだ。一からやり直した。金の亡者はメジャーへどうぞ！俺はメジャーに選手が行ってしまっても日本のプロ野球を愛しつづけるだろう。それがファン気質なのだと思うのだが

まあプロの選手が一般の人と同じような身分保障を求めるといっても不思議な発想にはついていけない。

いくらもらえば気が済むのか？イチロー選手と日本のプロ野球の普通の選手を同列に考えるわけにはいかない。

文句と待遇改善はMVPとってから・・・とまあ極論に走ってしまう。

9月8日-3

え？なんともはや

抗告の棄却は今、判断をすべきではなく自主的にやってねということみたいです。団交権は認めるが合併についての仮処分はしないということか。団交におうじなければNPBが不当労働行為に当たるということが内容にあるらしい。と、いうことは明日9日の話合いのやり方と内容次第で今後の成り行き（損害賠償を選手会がうけるか否か）が決まるという事だ。新規参入障壁をなくして新たな球団を作って働いていないFA選手を引き取らせれば面白いのではないかなあと思いますがかな。

うーむ、よくわからな判断だと思っていたみたいだ。

だけどプロを名乗り高額収入を望めるのであればリスクもあるのではないのかな？

この当時の日本のプロ野球はやはり、いささかおかしい。

いずれにせよ、まあ成績出してからだろうという考えが私を支配していたようだ。

だいたいつまらない、眠くなるような試合しかできない連中の存在価値は??

という部分もかなり感じていたのだろう。

金のとれる選手とそうではない選手の間の溝は生半可なものではないということだな。

まあいいや

2004年9月9日.....よくよく考えると経営センスのある会社がプロ野球を利用していたことが何気にわかったあたりだな。

税効果会計や赤字の取り込み（今はできないが）そして赤字の帳消しや税金の横取り。そんな感じすら感じ始めたころだな。なかなかプロ野球のこのあたりの動きは経営者の経営に対する考えがよくわかったころだな。

つぶれる会社の経営者となにがあっても自分がいただくという経営者の違いが業績にもよく出ている。

次は孫氏の出番がそろそろくるころだな。まだこのあたりまではダイエーの旧経営陣のあほさ加減がよくわかる時代だな。

2004年9月9日

経営者の覚悟

プロ野球の経営サイドの覚悟は結構決まっていると思う。なぜ近鉄は球団を売却しなかったのか？なぜオリックスは買ったのか？この辺を考えていくと面白いかもしれない。最初新会社設立しお互いが出資をするということだった。それが最終的にはオリックスへの営業権譲渡となった。そう新会社をつくれば新規参入障壁を作っているがため選手会や世論につつかれる可能性があると考えたのでしょう。おそらくはこの辺りはオーナー会議全体での意見の一致なのでしょう。「隙は作らない」ということなのだろう。またこの営業権譲渡であれば、近鉄側は特別利益を計上でき近鉄グループ全体の業績を良化させることができる・・・株主代表訴訟は無駄にさせることができる（今、現在1件やっていますが、このような理由で近鉄側が確実に勝利するでしょう）。またオリックス側は新会社への出資となれば新たな負担を生むだけなのだが、同じ負担でも営業権の購入であればその金額を5年間均等額で割った金額を費用化できます。オリックス本体で買うのか、球団として買うのか不明ですが、球団は当然親会社であるオリックスの連結納税対象（オリックスが連結納税しているかどうかはわからないが）になるはずだから税金がその費用化した分の税率をかけた金額が計算上戻る計算になります。またおそらくは通常の強化費等の金額ですでに完成されている選手契約の買取をするようなものだから二重にお得という計算が成り立ちます。なおかつ交流戦の権利を手に入れ熱望していた巨人戦の権利も手にはいり放映権料まで入ってくる。これって凄いことだと思いませんか？もう一組も同じ考えで動いたがダイエー側の現経営陣の責任問題を避ける意味での自主再建のため自滅したということでしょう。ただ資産査定が銀行側と会社側で並行して行われているからこの結果次第では銀行側が引き金を引くでしょう。（銀行も3回目の借金棒引きはさせないでしょうし、だいたい国民の金が入っているわけだからダイエーは国民の税金で助けてもらっていることになる。スポンサーは国民だ。ファンの話は聞かなければいけない）いずれにせよダイエーの売却の可能性は極めて高い状況です。経営者側は6対4になった場合、（11月30日のデッドエンドの秘密はこれだね）を想定しての行動をするため新規参入はさせないつもりだろう。おそらく加盟料は60億円を30億円程度で提示するつもり

だろーと思います。何故か・・・半額にするということは誠意ある行動ということになります。要するにストライキつぶしですね。選手会に対しては誠意ある団体交渉をしたのに選手が言うことを聞かずに要求だけをしている、との主張を今後できるようにするということです。当事者以外の球団の選手は相当な覚悟が必要でしょう。というかこの先の泥沼が見えてきている気がする。球団がどうしても必要な会社はおそらく阪神だけでしょう。他の球団はいざとなったら組織解散、新リーグ結成、選手会つぶして一本釣り、そしてそのときに自分達の正当性を示すために財務内容を公にするのでしょうか。財務内容が悪い、それも言われている通りの悪さならば球団側はなにも傷つかないでしょう。メジャーにいける選手はいつてしまうでしょう。要するに今、表にたってやっている選手も球団も傷つかない。こういう計算のような気がする。要するに8球団1リーグにされてしまう可能性があるということでしょう。コストに見合わないものは切るのが今の経営です。逆に経営から手を引きたいと噂されている球団とも利害が一致する。ストは事態をより経営者側を逆に戦いやすくさせるだけのようが気がする。昨日までは選手の判定勝ち。今日はどうなのだろうか、選手会側の能力では太刀打ちできないかもしれないが、オーナー側が阪神の野崎社長だからまだ話が収束する可能性がある。何しろ阪神電鉄は球団によって儲かっている会社なのだから。野崎社長の言動を注意しておこう。しかしオリックス一人勝ちだな。

しかし今、思えばどこに押しつけるのかを裏でやっていたのかもしれないと思えてくる。まさしくプロ野球がムラから抜け出ていない時代だったのだな。ちょっと前までは商売ではなかった証拠だ

9月10日何気にイタリアへ。まあF1テレビ観戦だが・・・おっとプロ野球はスト回避

うーん、**2004**年は佐藤琢磨選手の年だったということがよくわかる。

そしてプロ野球のスト回避の決定もこの日。

しかし今考えると選手側の思い上がりの方がひどかったのかもしれない。スポーツでめしを食うのが簡単なわけではない。当たり前だが何も生み出さない。だがスト回避がうれしかったこともよく覚えている。

9月10日

さあ、今日からF1イタリアグランプリだ。オリビエ・パニス選手が引退を表明した。無限ホンダ（只今、禁句ですね）初優勝の際見事なドライビングでゴールに導いたときの1996年モナコグランプリがなつかしい。その後もブリヂストン初参戦の際もブリヂストンのエースとして目覚ましい活躍。その後一時マクラーレンのテストドライバーを経てBARホンダで復帰。最後はトヨタで走る。引退とはいえ来年度はとりあえずサードドライバー契約になるらしい。ラルフ・シューマッハーに問題があった場合は代打出場するようだ。いずれにせよ日本と関係の深いドライバーだった。イタリアはフェラーリがどこまで勝つかということ一点に注目が集まる。琢磨選手はイタリアのジャーナリストから新人王としての表彰を受けたそうだ。

琢磨選手が受けた賞は右京も受けているはず。今も昔も選手の熱さが大事なのだ。

そして琢磨選手が好成績をまた、見せ付ける

だがその前にスト回避の決定が出ていた。懐かしい。・・・・・・ところで野球の労組って？やっぱり変だな。

9月12日

スト回避万歳

昨日、ストが回避されたおかげで無事観戦できました。

ファンの思いに応えようとする選手がいる中で、

相変わらず怠慢プレーもある。

ベ이스ターズの佐伯選手の熱いプレーには阪神ファンの方々もスタンディングオベーションで応えてくれた。

これがスポーツなのだと思う。正にプロ野球選手の鑑といえる佐伯選手には心から感謝と賛辞を送りたい。

しかし昨日の試合をみていた感じたのは攻守交替の際のだらだらとした一部選手の動きと、審判の判定の遅さ（リズム感悪すぎ）投手の不必要に長い間合い（これが一番よくない）

3時間30分も球場の硬い椅子に座ってられるわけないだろう。

ストやる前に試合内容を改善してください。

素晴らしいプレーと最高のファンサービスこれがかけているのです。

ベイスターズはファンサービスは最高水準にもう一歩かな・・・だけど東京ドームからみると超スペシャルサービス受けている感じもします。

12球団で最低限やらなければならないファンサービスといったものを真剣に検討して欲しい。

試合時間は2時間45分で終わるペースが一番楽しいよ！

9月12日

イタリアグランプリ

琢磨選手の頑張りが光っている。

しかし予選5位で満足できなくなっている現状がなんともはや凄い。

本物のトップドライバーとの競い合いが間違いなく見られる今日のレース本当に楽しみです。

頑張れ琢磨

この日は予選だったようだ。

2004年9月13日と14日・・・野球日記だな、これでは。何気にF1がシーズン終了に向かっている。

何気に野球ファンのぼやきとプロ野球の流れ。まあ金がかかりようになれば球団経営も真剣になる。

選手が給料に燃えれば、球団は成果を求める。成果がでなければ首。

まあ要求をすればやり返される。まあ一番の問題は実は・・・という部分に気が付き始めたころ。

選手の給料高すぎだろう・・・っとこれが普通の感覚。億単位のお金が個人で簡単にもらえるその感覚が怖い。そのお金の意味を感じることができるようになってから請求しろ！

まあやはりプロ野球はそうになっていく。当たり前だな。

9月13日

鈴木尚典のヒット

昨日久々にきちんとした姿をみたような気がする。

打撃フォームも元の戻ったようだ。

感ずるところがあったのかもしれない。

スト回避の際インタビューで

「突入するんじゃないの？え、しないの？」

みたいな受け答えでもうダメかなと思ったりもした。

選手は今回のことでいろいろ考えているようだ。

プレーの中でそれを感じさせてくれるような気もする。

何かがオカシカッタ日本の野球。

今回の騒動で全てが変わってくれたほうがよいのかもしれない。

とはいえベ이스ターズが残ってくれた事の喜びを感じずる今日この頃。

とにかく試合をしなければスポーツじゃないよ。

選手会は何かしら独自の試算はしているのかしら？

選手会を補佐する人たちの能力不足が問題だ

何気に選手会をサポートする人間のうさんくさに気が付く。

労働組合があまりにも前に出るとよくないケースになるのだろう。

当然の権利は当然の義務を果たすことと対応していなければならない。

日本にプロ野球はこの当時はそれが実はまだ出来ていなかったはず。

ファンの声を聞いたのはこのときがはじめてなのではないのかな？

選手会の主導権を持っていた人達がもう少し自覚をもってくればという思いが今は強い。

2004年9月14日

阪神のリストラ

いよいよ予想通り大リストラがはじまった。

伊良部、アリアス解雇。八木引退、藪メジャー。

年棒1000万円から2000万円程度の1軍半は大幅に

整理するらしい。特に他球団からのテスト入団組が中心らしい。

他の球団もやるであろう。ただし11月の末を狙うだろう。

このリストラの動きが速ければ新規参入応援であり、

遅ければ新規参入阻止であろう。

阪神はこの動きが速いということは新規参入歓迎なのだろう。

12球団2リーグ維持派なのであるのは間違いない。

ただロッテの瀬戸山さんが表に出ている間は流れは変わらないだろう。

本気でロッテ商品は買わない。永遠に！

しかしよっぽどなことがロッテの代表にあったのだろうなあ・・・・・・・・・・

はっきり言うが覚えていない。もしかすると1リーグ実現を目指していたのか・・・・・・・・・・

ロッテはジャイアンツが大好きということだな。

今となってはその考えがおかしかったことになる。

やり方を間違えていたのだ。

考え方を変えると意外とプラス面が多かったのかもしれない。

9月14日-2

トゥルーリ解雇

ルノーチームはトゥルーリを解雇し

中国GPからヴィルヌーブを乗せるらしい。

やる気なさそうだもんな、トゥルーリ。

しかしモナコのウイナー首か・・・・・・・・・・

前倒しでトヨタにトゥルーリということがあればね。

しかし風雲急を告げるF1だ

このときはルノーだったのかトゥルーリ・・・・・・・・・・。

9月15日から16日そして17日 あんまり意見はないみたい。疲れていたのかな。F1人事が動いている。まあ過去の話だ、今は意味がない。

楽天のプロ野球があった辺りだ。ライブドアとの争いもあったなあ。これで名前を売ってそしてどうかなってしまった時代の寵児がいたなあ。

まあ変な時代だな。今考えると時代の変わり目ということでいいのかな。

本当に変な感じがする。みんなおかしかったのかもね。

2004年9月15日

楽天参入

楽天が新規加盟を申請するそう。

まあライブドアよりもはるかに規模が大きいから

知らないとは言わせないみたいな感じかな。

主体となる選手が出てこなければどうにもならない。

選手達はストの前に自分達の契約内容を検討してみてもはどうだろう？

複数年で今年切れる、戦力外になりそう、FAだが日本でプレイしたい、

選手会の幹部達、新規加盟球団に行きませんか？

まあ自分から行く決断はしないだろう。

そこが今回の問題。巻き込まれた選手への同情が主体だからうまくいかない。

オリックスやバファローズの選手は法に訴えれば契約解除可能な状況に持ち込めるのではないのか？

契約の前提や実際の内容は知りませんからなんともいいようがありませんが。

まあ今の選手会の弁護士の戦法では勝ち目なさそうとかんがえているのかなあ？

ただ神戸グリーンスタジアムでは難しいのではないかと思うが・・・

松山や、宮城のほうはまだ期待できそうだが・・・

今週末は本当にストやるのかな？

まあ巨人を追放する勇気と強さがあるかどうかだけだと思いますが。

まあ有力選手はみんなメジャー行きだろうから関係ないか

うーん案外まともに考えていたのだな。宮城はあたり！

9月15日-2

ヴィルヌーブ

ルノーのプライベートテスト参加。

中国グランプリ以降についての検討するためであることをフラビオは認めている。

走り次第ではどうなることやら・・・・・・・・

契約により堅固にシートが守られている選手以外は結構青いだろう。

流れによっては琢磨も危ない。

これだけいろいろな要素が出てくるとは思いもしなかった。

結構シートの移動は少ないはずだったのが現実はぐしゃぐしゃだ。

まあこの元ワールドチャンピオンは反省という言葉をしらない。

いわゆるトラブルメーカー系。だが集金能力はきわめて高い。

2004年9月16日

横浜の山下監督

やっと解任ですか・・・ほっとした。

なにしろ動くと負ける、流れを崩す。

ついでに球団社長もなんとかして！

ファンサービスはどんどんよくなっています。

これに関しては全く文句がありません。

ただ不必要な発言が多く（合併だ、損害賠償だ）

ちょっと冷静さにかけるかなと。

来年は若手の底上げのよるレギュラー争いが激しそうだ。

大魔神が元に戻ってくれば優勝争いも夢ではない。

間違っても管理野球をするタイプでなければよいのと思うが。

少しのエラーや失敗なんか取り返す勢いの野球を見たいですね。

期待が持て、スピーディーでヤル気のある試合が見たい。

9月16日-2

楽天の参入

フランチャイズの問題をどこかで解決しなければいけない。

神戸じゃ問題をややこしくするだけだろう。

なにしろ今一番問題となっている部分だけに

考えが足りないと言われても仕方がない。

阪神と争っても意味がない。

人口が多ければ成り立つものではない事は

東京ドームにおける日本ハムが証明している

9月16日-3

ザウバー

ヴィルヌーブが2年契約かい。

B A Rにおける彼のドライビングを考慮すると

期待薄だと思うがどうだろうか。

アラン・ジョーンズ、ナイジェル・マンセルの

二の舞にならぬように期待したいが・・・・・・

9月16日-4

トゥルーリ、トヨタ入り

ヤルノ・トゥルーリがトヨタ入り決定

2005年からの2年契約。

ラルフ・シューマッハーとのコンビがうまくいくかどうか見ものだ。

確かガスコインはトゥルーリをあまり高く評価していないと聞いているが果たして今現在はどうなのだろう。

いずれにせよ来季ダメならトヨタは・・・・・・・・

ドライバーは考えうる最高の布陣である。

デザイナーが噂されているマーク・スミス、

ティム・デンシャムのジョーダン経由での加入があれば後はエンジンのみ。

実は2.4LV8を画策しているのがトヨタだったりして。

今シーズン残り3GPはどうなるのだろうか。

しかしトゥルーリが日本にこないとなるとデビューイヤー以来かな

（中野の残留とパニスの復帰で出られなかった）

しかし風雲急を告げるF1界だ。

まあこの辺り今となっては対して意味はない。自分でも読む気がしない。カットすればよかったな。

2004年9月17日から18日、野球とF1しかないのか？だがコミッショナーは天下りだった。時代の先取りコミッショナー（笑）

2004年9月17日

シルバーストーンテスト

琢磨トップタイム。

ヴィルヌーブ3位・・・どうやら力は落ちていない様子

トゥルーリ、トヨタでテスト・・・中国は乗るね。

しかしトヨタはこれでいきなりトゥルーリが結果を出すと青い部分もあるだろう。

どうやら今シーズン最高のレースが見られそうだ。

9月17日-2

選手会（注・・・プロ野球選手会）

ちょっと腰抜け状態かな。

昨日の古田には参った（試合です）

レフトスタンド指定に座っていたら

近くを古田のホームランボールが通過。

さすがプロの打球、風を切る音とともにやってきた。

ベ이스ターズ応援団も古田の本塁打には声援を送っていた。

佐伯選手のファンへの対応は最高です。

昨日は声援に3度も帽子をとって応えてくれた。

選手が真剣にプレイをしファンとの間に交流があればファンは選手の味方です。

ひるまないでがんばってほしい。

バファローズの選手には自由契約を選べる権利が

当然あると思うのだがどうなのだろう。

統一契約書を公開してほしい。

外野席に飛び込んでくるプロの打球。ホームランなのに凄い打球だった。

今に覚えている。ほぼライナー。取りにいったら大怪我間違いなし。

9月17日-3

ヴィルヌーヴ（注・・・1997年のF1ワールドチャンピオン ジャック・ヴィルヌーヴ）

ルノーチームと正式契約

こりやおもしろくなるぞ

注・・・・・・・・ちなみに結果は出なかった。厳しいねF1は。あっという間の過去の人。

9月17日-4

独立リーグつくろうぜ！

もう面倒だから、独立リーグ作っちゃえ。

選手会にそのぐらいの覚悟があればファンは付いていくよ。

もう今の野球界の仕組みを根本的に変えるべき。

長嶋さんが元気ならどうコメントするだろうか。

野球に携わり続けた人と野球が三度の飯より好きなものだけで野球しようぜ！！

コミッショナーは元野球選手がやるべき。

スポーツには魂が必要だ

意外と本当になってしまった。まあ考えることはみな同じ。

9月18日

フォード F1撤退

あまりの衝撃に言葉も出ない。

なんということだろう。

プロ野球から阪神がなくなるようなもの。

F1界はますます風雲急を告げる

まあありえないことが起こったということ。

見えないところでの影響はいまだに続いている。

9月18日-2

巨人軍を追放しよう

球界の発展は巨人軍とともにあり・・・・・・・・

もうそんな時代はとくに終わっていることに気づかない人達。

今回の問題は裏取引がどの程度あるのに着目すべき。

2005年からの参入容認派は、阪神、横浜、中日、広島。

参入拒否派は、巨人、近鉄、オリックス。

権限なし派は、ヤクルト、ロッテ、西武、ダイエー、日本ハム。（使い走りの典型組）

まあこのように考えれば一番よいのは巨人軍の消滅
現実的に考えれば日本プロ野球機構は絶対的な唯一の組織であるわけがないから、
対抗組織を選手会と参入容認派球団と参入希望企業でつくればよいのでは・・
もう巨人の独善主義にはむかつきまくる。
その巨人にぶら下がるしかない球団はもう解散してください。
真剣に面白い野球を取り戻すには利権争いではなく、
顧客であるファンが何を望んでいるのか考えなければならない。
ファンは常にどこが優勝するか分からない激しいペナントレースと
プロならではのスーパープレーを見ただけだと思うのだが。
戦力分析で先が見えるから視聴率がさがるの！入場者減るの！
渡辺という人類史上他に類をみない人間の〇〇がだめにした。
オリックスと近鉄は野球界から追放しろ！
来季この合併球団の試合は徹底的にボイコットしましょう。
この合併球団についてはファンは参入拒絶したいのですが・・・・・・（笑）

まあ結果は自分で考えを変えたみたいだが・・・・・・やはり体質はしばらく同じだった。

9月18日-3

Nコミッショナー氏の人間性

前コミッショナーはコミッショナー辞めた途端、
他の団体を立ち上げ会長になってる！
真剣にこの事実を見つめましょう。
彼は金が欲しかった単なる天下り野郎です。
ちなみに新団体とは「消費者機構日本」
悪質商法や不当契約の被害を防止する団体だってさ
すげーや次の就職先決まったから辞めたのか・・・・
こんな人間がコミッショナー・・・・・・
現在のNPBの解散を強く望む。

まあコミッショナーが天下りに過ぎなかったことの証明を見事にやってくれた。
名前は今は故人だから伏せるが、すぐにわかるはず。
まあ天下りの考えることは時代の最先端ということかもしれない。
ということは詐欺師並ということなのだが。

2004年9月19日から29日 思い切り手抜き状態。まあこんなものだ。まだまだ意味を理解していないころ。

この辺りは野球のみに近い。登場人物もその当時の人だが故人もいる。
相当たたかれた人もいるし会社もある。ただしその後その企業は考え方を修正している。
スポーツはひとりではできないのだ。競争があって初めてたのしいのだ。
子供でもわかることを大人はわかっていなかった時代だ。
ちょっと前までやはり日本は明らかにおかしかった。

9月19日

経営危機で退職金？

コミッショナーの年棒3000万円退職金1億円

経営が大変なのにこの金額は何だろう。

だからオーナーサイドの話に信憑性がないのだ。

各球団のオーナーさん達は野球からいくら得ているのかな？

オーナーさん達はお金持ちなのだから手弁当で働けよ

球団組織はもっとシンプルにすべし。

当時、実は最もおかしかったのはこの当時のコミッショナー。

天下りの弊害もろだした。引退した役人よりも機構の中から人選してみろ！と言いたくなる。

9月19日-2

コミッショナー

コミッショナー就任希望者はたくさんいそうだ。

みんな野球が好きなのです。

なんだ、本当の適任者はたくさんいるのではないか

今日朝〇〇テレビの報道番組を見ていてそう思った

〇〇さんやりたそう。

ただ渡〇さんは「知らない人はダメ」というのかな（爆笑）。

野球が好きで、ネームバリューがあり、オーナー

選手、その他関係者及び日本中のファンが話しい耳を傾けられる人だな。

もしかして水戸の黄門様が一番の適任なのかな。

現代の悪代官はプロ野球のオーナーだな。

そういえば巨人の関係者は最近沈黙だな。

ロックアウトも中止かい・・・腰抜けだね。
読売、報知は徹底的に不買運動をおこすべし。
根性なしの書いた記事などどうせ信用に値しない。
真実よりも利権と金、売れるなら訪問販売法も無視
読売はいい加減にしたらどうなんだ

そう結局はこの騒動は旧体制側は巨人と。。。まあ最初からわかってはいたけれどね。
逆に改革が始まると一番進んだのもこの球団だ。
どこにでも内部に人格者はいるのだろう。

9月21日
横浜、〇〇専務

新規参入容認方向発言。
阪神、中日、広島が同調
ヤクルト、日本ハムも続く。
それに対しオリックスは・・・
あきれて物が言えない。
オリックスファンの方まだ来年応援できますか？

当時の横浜ベイスターズの専務の発言だ。1リーグになったら横浜も追い出されていたのだ。
本当に今考えても当時のオーナーの一部の社会性のなさは笑える。
だが反省も早かった。やはり民間の知恵、いやお金の重要さかな。

9月21日-2
〇〇〇〇〇〇支援

横浜は〇〇〇〇〇〇ア支援の立場を明確にした。
前向きになりましょうよ。
12球団いろんな地域で野球チームがあって
全国どこでもプロ球団が試合をする。
大都市圏の人間だけが生の試合を楽しめる権利があるのではない！
試合数をもっと増やして全ての選手の出場機会を増やし
若手とベテランの競い合いを見たいものだ。
ストをやった副産物として選手がよいプレーを連発しているようだ。

26日ストがなければ横浜スタジアムいくぞ！

（チケットが無駄になりませんように！！）

○はまあ調べてください。すぐにわかりますが。

本当にいやになりかけていたのだな。完全にむかついていたことがわかる。

9月24日

週末の楽しみが帰ってきた。

さあ、プロ野球が週末に帰ってきた。

なんともやりきれなかった先週末。

各地の試合は熱戦が多く、毎日でも観にいきたい。

しかし、磯部選手の熱さは宝だ。

彼らの熱さをこれから信じて球場に行こう！

試合を犠牲にし戦いを挑んだ選手達を応援に球場へ行こう。

と前置きが長いのですが、26日に横浜スタジアムに行きます。

と、これが言いたかったのね。

熱い試合を見せてくれ

まあ終息方向に向かったのがこのあたりかな。

まあ7日間戦争ののりだな。

9月29日

独立リーグ

元オリックス監督の石毛氏らが中心となり

四国4県に各1チームずつ置く形で独立リーグをはじめようだ。

高松市をはじめ自治体も金を出しスポンサーもいるようだ。

面白い試みですね。

四国まで遠いからなかなか見に行くことはできませんが、

なんだかこのギスギスしたプロ球界と比べ心温まる思いだ。

成功してほしいです。

四国の皆様がちょっと、いやかなりうらやましい。

プロのキャンプの際試合ができればいいのにね。

リベンジ組ががんばれば面白くなるでしょう

まあ新たな動きが本格化なのだろう。

野球もようやくまともになるということね。

しかし金まみれはどうにもならない。
だけど当たり前がこれで生活しているのだ。

2004年10月1日から4日・・・F1と野球しか興味がないのか？（笑）スポーツマンシップと独立リーグ

まあなんだろう、疲れていたのだろう。野球とF1のみ。意外とスポーツマンシップなどと高尚なことについても書いている。どうやら文章をなんとか書くことができるようになってきたようだ。しかしこの中身のなさはブログだな。

スポーツマンシップは野球の混乱にちょっと嫌気がさしていたのかな。そう、なにかが欠けていることを感じていたのだろう。その何かがわかった瞬間があったということだ。気がつくとその両チームはいまだに強い。

そうスポーツで大事なものはスポーツマンシップなのだ

10月1日

結構しっかりしてますな独立リーグ

バックに四国コカコーラボトリングと

JR四国。年棒は200万円。

ほしければ本当にがんばってステップアップするしかない。

試合中継までは難しいでしょうが、

総集編的に適度にまとめて放送してくれないかなあ？

テレビ東京辺りががんばってやってくれるとよいのだが。

テレビ東京大先生様、考慮してください。

まあさぬきうどんではなかったところがまだ残念なところだ。地元の名産や名物がスポンサーになってくれればもっとおもしろいのね。**CS**局とうまくつながれば「全国独立リーグ中継・・・抜粋版・・・明日のヒーロー探せ！」とかなんとかタイトルつけて・・・だがこれではあまりにも臭すぎるな。

10月1日-2

トゥルーリ、日本グランプリ、トヨタで参戦

ヤルノ・トゥルーリが日本グランプリ参戦。

日本はオリビエ・パニス、ブラジルはゾンタがチームメイト。

トヨタもヤル気だ。

このレース結果次第では来季のエースがどうなることやら。

来季のトヨタは内部からのエネルギーによりそこそこやりそう。

これで日本グランプリに役者が揃った。

まあ存在価値を自ら放棄していたトヨタがようやく少しはまともになってきたころだな。
まあ結局はどーでもいいことになってしまったが。今ではネタにされているトヨタF1・・・・・・

10月3日

スポーツマンシップとは？

今日のパ・リーグ、プレーオフは素晴らしかった
試合内容はもちろんのことですが
一番は終了後のヒルマン監督と伊東監督のやり取りです。
固い握手の後の言葉のやり取り。
何を言っているのかはわかりませんでした。
ただその表情とお互いの動きを見て推定するしかないですが
これがスポーツなのだという感じでした。
監督同士のエールの交換がそこでおこなわれたのでしょう。
しかしこの3戦とも素晴らしい試合でした。
もう巨人戦は終わったね。
野球というスポーツのよさを表現しない試合はもう中継の必要はないよ。
第2ステージも注目だ。
おれ流中日全員野球対パ・リーグど迫力チームの対決、とても楽しみです

まあなんだか思わせぶりだが、所詮は日記ということか・・・・・・

10月4日

東北独立リーグ

いろんな形で独立リーグができそうだ。
地域に密着するから、企業も広告出しやすいし
結構いけるのではないかと思う。
スポーツをする楽しみがいろいろな形ででてくると
きっといろいろな面で役に立つのではないだろうか
チャレンジできるものがあれば若者の非行も減るかも（年寄りくさいなあ・・笑）
適当に会報というか雑誌を各独立リーグで作ってほしいなあ
予約購読制でもよいのではないかと思う。
ちなみに私は真っ先に買うつもり。

しかし石毛氏や東北リーグの発案者には本当に感謝します。

ちょっとめげていた一野球ファンの私の心を暖めてくれたことを本当に感謝したい。

「ありがとうございます」そして「がんばれ」

まあこの時はちょっと乗りすぎだな。しかし意義はあったと思う。問題はそこまでのレベルにまだ日本の野球が達していないということだな。・・・だが日本は**WBC**の覇者。そう考えると・・・問題はまだ別のところにあるのだろう。

2004年10月5日から7日 野球と**F1**だけのはずが音楽が乗ってきた。なんだこのブログは！普通の日記状態だが感傷にひたりすぎだろう。

完全に野球と**F1**モード。そしてこのころダイエーに引導が渡されたようだ。

何気に世相も．．．．．きわめて部分的

だがベ이스ターズはこの頃が本当に最悪の時期

2004年10月05日

客がないぞ

昨日の横浜スタジアム．．．客がない。

非公開練習試合なのかしら．．．

だいたい昨日試合あるなんてしらなかった。

もう少し宣伝しろ．．．無駄か。

なにしろ日曜日放送予定がいきなりなくなり、

（中日の優勝がきまったこととパのプレーオフがあったからなのだろうが）

とうとう来るべきものが来たかと思っていたらこの有様。

メールマガジン号外ぐらいだせよ、まったく

とはいえ雨だからいかなかっただろう。

500人ぐらいはいたのかなあ．．．100人は切ることはないと思うが。（あぶない）

これは巨人戦はこれから今までとは逆に不人気カードになることとの前兆なのでしょう。

これでタイロン・ウッズが巨人移籍なんていったら野球ファンいなくなったりして。

なんだか巨人やロッテと聞くとうっとおしくて仕方がない。

なんとかならないのかなあ。

いやあ、あんなに球場に人がいないなんて．．．．．

逆にありえないものをみることが出来たという感じだったのを覚えています。

本当に野球馬鹿そのもの。。。。

2004年10月06日

巨人軍は何を考えているのか

中日のアレックスに手を出すそうナ。

アレックスは中日残留が第一と考えているようだ

そのうえわが軍の4番ウッズにも手をだすそうナ。

契約上、協約上も可能であるようだが、それでファンは納得するのかな。

自分で探せ、自分で育てる、だから人気がなくなるのだ。

仁志、清水、工藤がF A 移籍に動いているようだ。

あんな球団にいても面白くないだろうなあ。

上原もメジャー密約があるみたいだから、経営者があほで目茶苦茶弱くなるかもね。

ファンも選手も愛情がもてないようなチームが球界の盟主だから人気が落ちる。

横浜ファンの私には関係ないがさすがに放映数が減るといたいからな・・・

来年はもっと球場に行こう。佐々木シートでも買おうかな

10月06日-2

鈴鹿

大雨になりそうな気配

1994年の鈴鹿は大雨の中2ヒートで行われた。

（なつかしい・・・セナのセレモニーもあったな）

序盤、スピン続出。日本人があっという間にいなくなる。

途中、中断されたときにまだ雨が降っている最中でも

シューマッハーはレース再開を中断中も訴え続けていた。

それを見ていたクリスチャン・フィッツパルディが苦笑いしていた。

これが差なのだね、栄光を掴むか掴めないかの。

勝利へのあくなき意欲。プロを感じる。

それ以上にこのレースではヒルの右リアタイヤ（かな）

が交換できず（外れなかったのです）そのまま走り続けたのです。

明らかに滑りまくっているのに腕で走る。

この時のヒルは彼が一流のドライバーであることを証明していた。

マンセルとアレジのバトルもすごかった。

雨の中のドッグファイト。本物のレーサーがここにいた。

琢磨も彼らのようなドライビングを見せて欲しい。

彼にはできる。

ジャイアンツが野球ファンから総すかんをくっていた頃だな。

しかし本当に野球とF1しかないような感じがしてきた（笑）

10月7日と8日　　あまりにも能天気。音楽聴いていたのか・・・大昔のね。ダイエー
球団崩壊へ時間切れ予告・・・まあ中身がひどすぎたということだな。

しかしこの頃は暇だったのだろうか？トーキング・ヘッズを聞いていやがる。
まあ相当に退屈していたのかもしれないが、単なるストレスの塊だったのかもしれない。

2004年10月07日

いい天気だ

ひさしぶりにCDを買ってしまった。
トーキング・ヘッズの2枚組ライブ。
高校生の頃セカンドアルバムを買いそれからしばらくはまったな。
リメイン・イン・ライトで大ブレイク
その後デビッド・バーンが映像の世界へ行ってしまう活動停止状態に。
デビュー前のアートスクール時代から
ありメイン・イン・ライト発売に伴うツアーまでの音源だ。
初CD化がライノの手によるリイシューのため曲数が一気に増えている
ニューヨークの知性派バンドがアフリカを經由し
エスノファンクという新境地を開いた過程がよくわかる。
とはいえバーニー・ウォーレルのPファンク風味や
エイドリアン・ブリューが目立つのだが・・・
ニール・ヤングからPファンクまでをヘッズ風味でやっちゃいましたということか
なかなか当時とは違い目立たなくなっていくヘッズだ。
録音はのちの映画とは違いよくないですが、これはこれでなかなか味があります。
ヘッズを聞いた事がない方は敬遠をしたほうが無難だとは思いますが・・・
まあCD化がなかなかされなかったのには当然理由があるということですね。
まあ、今となっては何故の状態・・・・・・・・・・まあ人間の心はいつも不思議

2004年10月08日

ダイエー球団ピンチ

産業再生機構が12日を期限としてきているみたいだ
銀行側はその日を限度にして民事再生法適用の申請をしそうな雲行き。
まあ借金して返さないのだから仕方がない。
どうして大企業のお偉いさんたちは責任をとらないのだろう。
取締役の一番の仕事は問題を起こさず経営をすること、
問題がおきたら責任をとることが仕事ではないのか

産業再生機構は当然球団保有しないから球団は危機

東北がライブドア、九州は楽天でよいのではないか

ロッテが本気で色目使っているみたいだから

千葉にどちらかが来てもよいのではと思うが

そんな簡単な事ではないか・・・・・・・・・・

掛布氏が監督になるのであれば千葉本拠地のチームがよいと思うのだが・・・・・・・・

バレンティン監督はメジャー復帰（マリナーズ）のようだから

ロッテはあせりもあるのかなあ。

まあいずれにせよ昔からの球団がどんどんおかしくなっていることは確かだ

まあなつかしいというか、一体何をやっていたのかなの状態

しかし混乱もしていたようだ。プロ野球崩壊寸前だったころだ。

まあ逆に大きく反省して改善されたから、いまでは過去の話・・・・・・・・だが油断をしていると・・・・・・・・

10月9日プレーオフ、F1、音楽・・・趣味性が強い。ほとんど日記。まあ本当に普通のブログ。

まあほとんどカットが普通かな。記憶にも残っていない。まあこれがブログ。所詮。・・・

2004年10月09日

プレーオフ第2ステージ

素晴らしい試合でしたね。

間違いなくパ・リーグのほうがレベルが高い

選手の勝負にかける意欲が違う。

セ・リーグの人気に溺れ、思い上がった選手たちにはもうあきあきだ。

とはいえ、もう東京にはパのチームはない

失って初めてわかるものがあるということ

久々に思い知った。

来年はドームに日本ハムが来たら見に行こう

うーん、この後の日本シリーズのセとパの戦いでこの予想が当たってしまった。

もうセ・リーグは・・・・・・・・・・まあなんともいえない

2004年10月9日-2

ジュリアン・コープ

台風がやってくるというので家にこもっています。

家族は冠婚葬祭のめでたい方で外出していますので

やりたい放題状態をいいことにCDとDVDを引き出した聞き放題、見放題。

何が幸いするかは分からないというのは不謹慎なのだが。

東京は夕方すぎなのだろうか高台の5階なので浸水などの可能性はないです。

しかし突風がこわいなあ。南側が結構何もないので

まともになにかとんで来そうだ。

いつもは見える新宿のビル街も全く見えない。

そのうえ新宿区は防災放送流し始めている。

台風が何度も上陸した方たちは本当に大変なのだろうと思います。

ということで、ジュリアン・コープ。

2枚引き出してきました。

W o r l d S h u t Y o u r M o u t h

F r i e d

学生のとき彼のライブを渋谷の今はなきライブイン82と日比谷野音でみたな。
結構よかったのだがちょっとテープ使っていたのがなあ・・・
どうしても楽器だけでは再現できない音があるためなのだろうが。
当時、流行し始めていた（ほんの1部で）ネオサイケの代表格扱いだったね。
エコー&ザ・バニーメンと昔メンツの交流があったり
レーベル（コロバ）がおなじだったりしてよく比較もされていた。
ただ1stはリズム的な部分では比較的普通のロックであり
それほど極端なサイケ色はない。2ndのフライドは結構サイケよりなのだが・・・
シド・バレットの影響下にあるのではと言い方が多かったがそこまで繊細ではない。
またピンク・フロイドと比較しても演奏力があるわけではない。
1stは軽く聞き流すのにちょうどいい感じかな。
曲は聴きやすいし破綻もなく適度にポップで力強い
はっきりとした明晰な意思でまとめられているアルバムだ。
2ndのフライドはネオサイケそのもののアルバムだ。
このアルバム出た時にティアドロップ・エクスプロージョンズのキリマンジェロも再発された
なあ。
サンスポットがシングルカットされたが（ジャケが豪華だった）
本当にこの当時のイギリスでのネオサイケブームにのった感じだった
80年代初頭の音にふれたい場合にはいいサンプルかも。
しかしなつかしいなあ。ビヨンド・ザ・フォックスでの楽器破壊ショー。
がらがらのライブイン（30～50人ぐらいしかいなかった）で大受け。

まあ、若気の至りの残り香・・・

2004年10月9日-3

ミッドランドF1

2006年からの参入を目指した新チーム誕生が発表された。
ロシアの新興財閥のミッドランド・グループとダラーラのジョイントチーム。
ちょっと無理なのでは思ういますが、
これ以上台数が減っては面白みがなくなってしまうので歓迎ですね。
しかしエンジンはどうする気なのだろうか？
来年以降のF1はかなり厳しい状況だ。
ミナルディはすでに来季マシンが作れない状況みたいだ。
ジョーダンチーム売却失敗（というよりも金を引き出したかっただけ）

エンジンについてはトヨタはワークス以外には出さない事を明言。

とはいえこれはトゥルーリ時のように実際に動きを隠すために言っているだけかも知れないが。
なんであれ来年は3台エントリーチームがでそうだ。

ジャガー売却はバーニー・エクレストンとレッドブルが買い取る噂があったがどうなるのだろう。
。

うーん、もうなんともいえない。同じような試みがこのあとも実現したりもしているが全部駄目。
。

レースはレース屋にしかできない。

2004年10月10日-13日 日本グランプリと野球・・・プレーオフなのだ。

2004年10月10日

日本グランプリ

何故にあんなに速いシューマッハー？
全車周回遅れも可能かも知れない状況。
琢磨は大健闘！
来年がまた楽しみだ。
次は優勝だ。

2004年10月10日-1

プレーオフ

ダイエー強し。
しかし内容は実質日本シリーズと言ってよいかもしれない。
これぞプロと言える内容だった。
これがあと1試合あるのかと思うと心ワクワク。
勝利へのあくなき執念。
これがプレーオフを支えている。
最初、プレーオフについては疑問があったが
これを見てしまうとチャンスが続くことのよさが分かる。
本当に1リーグになんかならなくてよかった。
大体セのチームがプレーオフに出た3チームに対抗できるのであろうか？
本当に素晴らしい試合でした。
「これからはパ・リーグです！」
新庄選手の言葉が耳をついて離れない。

2004年10月13日

今日はレース雑誌発売日
日本グランプリ号だから各誌発売日が早い・・・
とはいえ少数なのだが。
早速2冊買いをしよう。
なにしろ佐琢磨選手は実力でもぎ取ったのだ4位を
亜久里選手はセナ・プロ激突があった時の3位
競い合い上位をずっと走り続けた結果だ
世界的な本物のドライバーになったんだという気がします。
過去の先人達が切り開いた道を堂々と日本の若者が歩いていく。

同じ日本人として彼を心から誇りに思う。

しかし、野球の松井、イチロー、F 1 の琢磨

その他いろいろなスポーツで世界に立ち向かう若者達。

本当に素晴らしいと思います。

中年のおっさん（まだ若いつもりだが事実は・・・）も負けていけない。

まあ意味はないといった感じ。このころから野球はパ・リーグ中心になっていったのだな。

ストはパ・リーグのためにあった。きっかけもそうだが。ジャイアンツ中心主義の崩壊といったところかな。

2004年10月17日 プロ野球の誤審。まともに目の前で見ると結構ねえ・・・ただし2002年の話

プロ野球の審判の誤審・・・それもちっとドが過ぎるものを目の前で見ただけの経験がよみがえってきたときの話のようだ。

たまたま何かあったのだろう。そのときよりも凄まじい誤審を目の当たりにすると・・・・・・・・・・

今ではありえない（ビデオ判定が導入されたから。）ファウルがホームランになったときの記憶。

うーん、結構、外野手に声をかけるとこういったときはいろいろやってくれるという経験もした。

やっぱり野球は球場で見るのに限る。

2004年10月17日

社会人としての審判

昨日の審判についてはいろいろな意見があるでしょう。

ただ賞賛すべきは責任をしっかりと全国に向けてはっきりさせたことかな。

正直グラウンドの中は再びスポーツが戻ってきていると感じた。

間違いは絶対におこると思います。

しかしスポーツである以上公平な判断が必要です。

問題点は過去からいろいろいわれています。

アウト、セーフ、ストライク、ボールの判断は審判に絶対従うべきでしょう。

ひとつだけ問題があります。それはポール際のホームランです。

おとし目の前で大誤審を見ました。

これはテレビの珍プレー（TBS版）でも放映されました。

中日の谷繁選手の打球がライトポール際に飛びました。

その日外野ライト側外野席で観戦していたのですが

打球は途中からライトドライブがかかり

ポールの2,3メートル手前でフェアゾーンからはずれ

ポールの外のスタンドにはいりました。

外野席全体はファウルという言う事がわかっている状況です。

近くでみていた私は目の前でポールの外に入っているのをみていました。

なんとテレビでは谷繁選手が笑いながらベンチに戻り

誤審であることを分かっている状況を写していました。

外野の線審がいないのでこのようなことがおきます。

線審がいなくなったのは選手の給与が上がりすぎ
予算がなくなってしまったからと聞いています。
この時にはっきり思いました。ホームランの判定のみビデオを使うべきだと。
また微妙な判定であれば
そのときの責任審判の判断でビデオ確認があってもよいのではと思いました。
まあ何はともあれ審判が誤りを認め謝罪したという事は
社会人としての責務とは何かという事を深く考えさせられました。
西武のオーナーさんの行動についてNPBはどの様に考えているのだろう。
公共財としてのプロ野球か・・・ところで社会のルールを無視した球団、
西武と巨人が参入審査委員をやっている事に大きな疑問を感じる。
西武と巨人軍のお偉いさんたちは社会人失格ですね

まあとにかく怒りはいきなりストを起こす方よりもその当時、完全に球界を牛耳っていた側にも
向いている。
うーん、やっぱり何かがあると変化が起こる。　ただしその変化を大きく受けるのは当然それでも
変化しない・・・だ。

2004年10月24日25日26日 なんとなく現在の形が見える。ちょっと切れたかな。そう怒りがなければなにもない。それでは通り魔だ！

もしかして、このあたりはおおきな地震があったころかもしれない。
そんな感じがする。それに対応しない政府の責任者や役所にちょっと切れた感じ。
どうもこの辺りが基盤になってしまったのか 。まあ流れに任せて。

2004年10月24日

なんだかなあ

小泉というお方は日本国民を守る意思があるのだろうか？

映画に対して失礼だから席を立たないっていったい

ご自分の職責は映画鑑賞ですか？

山田某さんの映画はきっと傑作なのでしょう！（ぷ）

まあなくてもかまわない映画と人間の命、どちらが大切なのか？

まあこの映画は一生みないと思うけれど小泉のボケおやじの蛮行は一生忘れない。

たいした首相だ！

首相に切れた！まあどっちが大事なの といった感じなのかな。どうもそんな感じだ。

2004年10月25日

未公開株

仕事をしていると電話が一本

「株式公開を準備している〇〇〇という会社の未公開株のことでお電話いたしました。」

結構丁寧な電話だったことと、たまたま顧客に似た名前の会社があったので

何気に聞いてしまいました。

どこで自分の電話番号を調べてかけてくるのだろうか？

うーむ仕事関係名簿か仕事のホームページだな。

一見お金ありそうな商売やっていますが、独立したての私はとてもとても

一度やけどしてますからなかなか購入する気はしない。

未公開株買うくらいなら、DVD買うよ 小物だ

詐欺師に切れた！この当時、流行した未公開株詐欺のようだ。

未公開株のセールス自体がおかしいだろう！

未公開だから市場もなければ売ることも難しい。

100%詐欺。ちなみに女性の声だったような気がする。ブラック会社の営業ね。

気が付け、自分がやっていることに。

2004年10月26日

ちょっと恐怖を感じる

今回の中越地震で感じたことがあります。

ボランティアの方達は真っ先に動き、

電気、ガスはもう本当に最高速度で回復しているようです。

ところが、水が・・・・・・・・・・

確かにもっとも一筋縄では行かない部分もあるとは思いますが、

生きるためにもっとも必要なものがない！！

ここは日本だったよね

役所が絡むとロクなことがないという実例だ。

自衛隊の方達は指令前から情報収集に努め準備をしたそうです。

本当に頭が下がる思いです。

なのに政府は？地元の役所は？疑問だらけです。

水が必要なら自衛隊機総動員すればいいじゃないか。

孤立した集落があるなら民間のヘリ借りて救援すればいいじゃないか。

金がなければ緊急国債でも発行すればいいじゃないか？

必要なところに金が回らず、泥棒まがいの居眠り議員と無能役人に金が回る。

もう現政府には完全レッドカード、退場しろ。

郵便局の民営よりも年金なんとかしろ！

もらえる奴らが議論するからおかしくなる。

江戸時代の悪代官よりも善人面しているからタチが悪い。

補正予算を組む用意がある・・・・もう何日たったのだろう？

やる気があればすぐに国会速攻で召集して即決議すればよいじゃないか

国民を守る意思がない議員達だ！

東京で大地震がきたら・・・・自衛するしかないのだろう。

新宿区役所のやる気のなさはもう芸術的ですから

たく阿波踊りだけ毎年うまくなりやがる。

どうも中越地震の頃のような。江戸時代の悪代官＝当時の政府といった感じだったのかな。

この後に様々なことが起きていったような・・・・まあ政府の奇麗ごとは所詮きれいごと。

動かない議員に切れた。働け議員。災害時に動かないのであればてめーら全員死刑！（笑）こまわりくん

2004年10月30日 この当時のダイエー球団の不祥事発覚と音楽。動くマジック・サムだ！

うーん、しかし不祥事の多い年だ。なんだかめちゃくちゃだ。
というわけで音楽にまで走っている。なぜかトーキング・ヘッズだ。

2004年10月30日
ダイエー大不祥事

もういい加減にして欲しいプロ球団の不祥事
球団幹部が自己保身のために選手契約を盾に使う。
中内、高塚氏についてはあきれて物が言えない。
コロニーキャピタルとの契約も保身のためだといわれても仕方がない。
井口選手に裏契約があり、中内、高塚両氏の球団経営体制が崩れた場合
井口選手は自由契約になるというもの。
こんな契約がまかり通ってよいのだろうか？
徹底的に糾弾すべきである。ファンをバカにしすぎです。
大体、高塚氏については別件逮捕という状況であり経営者としてどころか
社会人としての人格を疑われている状況。
経営者がその経営をしている企業を危機に陥れかねない行動や
その企業の財産を自ら放棄するような行動を取ってもよいわけがない。
ポスティング防止と言えは聞こえはいいが、
規約上選手の一方的要求でポスティングはできないはず。
と言う事は完全に経営者の自己保身のための契約とってかまわないであろう。
小久保選手のトレードにまつわる疑惑が話題になったときに
噂になっていてことがどうやら本当だったということね。
「中内氏の涙には気をつけろ。騙されるな」
誰かがテレビではっきり言っていたなあ。

典型的な私物化だろう。この後、当たり前だがダイエー球団は崩壊していく。
まあ別件逮捕された状況まで言っているとあきれる。まあその程度だったということだろう。

2004年10月30日-1
国内独立リーグ

野球評論家（阪神の元エース）江本氏が国内独立リーグ設立を発表した。

各地の独立リーグと交流戦もあるようだ。

いよいよ面白くなってきたぞ。

プロ野球（特にセ・リーグ）が急速に地盤沈下している中、物凄い行動力だ。

これを応援しなくて何が野球ファンだ！

地方局をキー局にして放送もして欲しいですね。

最初はダイジェストでそして内容が充実しファン層も安定したら

各地のケーブルテレビを結んで全国放送というのがよいのかも。

いやあ、野球って本当にいいですよ。

まあ、いいのではないのかなといつつ、経営を考えると厳しいだろうなあ・・・

2004年10月30日-2

トーキング・ヘッズのライブ盤

トーキング・ヘッズのなかなかCD化されなかった2枚組ライブが再発された。

その名も「THE NAME OF THIS BAND IS TALKING HEADS
」

デビッド・バーンが再発を拒み続けたいわくつきのアルバム。

リメイン・イン・ライトで一気に一般化（？）した時までを

デビュー前ライブからまとめたミニ変遷史といった感じ。

未発表ヴァージョンを多数含み、より全体像が掴みやすくなり

音もリマスタリングのせい格段によくなっている。

全体的にはまとまりを欠き、もの凄くとっちらかっているのだが

無理な細工もなく自然なヘッズの姿がそこにあります。

1枚目はヘッズそのものの演奏が中心。

4ピースバンドとしての限界はあり音の広がりもない。

あくまでもニューヨークのその当時の新しい音のひとつとしてのとらえるのが正解。

といっても音の面で新しいわけではなく、その当時の過剰装飾な音から離れ

身近な話題を歌にしていくという彼らなりの真実の歌がそこにある。

ラブソングではなく・・・「モアソングス・アバウト・ビルディングス&フーズ」

2枚目は当時の流行となっていくファンクぽい音

そう「エスノ・ファンク」といわれた音になっていく。

とは言えこの後の映画「ストップ・メイキング・センス」のような洗練された音ではなく

あくまでも泥臭い攻撃的なそしてどこことなくアフリカを感じさせる音

とは言え呪術的な雰囲気が出ていることは確かだが

やはりこれはエイドリアン・ブリューのギターの音に助けられている。

リズムはそこまでノリはなく、ロックバンドとしての限界が露呈されている。

ところがこの中途半端さが不思議とこのアルバムの位置づけとしての魅力になっている。

とは言えヘッズを初めて聞く人はこのアルバムから聞いてはいけない。

「リメイン・イン・ライト」を聞き映画「ストップ・メイキング・センス」を観て

「モア・ソングス・・・」もしくは「フィア・オブ・ミュージック」を聴いてから聞きましょう

。

とっつきにくい分全体がつかめると離せなくなるCDです。

世の中的には3.5点（5点満点）好きな人には4.5点かな。

まあ、ということで終了。

2004年10月31日 アメリカン・フォーク・ブルース・フェスティバルと村田兆治さんの 凄さ

2004年10月31日

アメリカン・フォーク・ブルース・フェスティバル

アメリカン・フォーク・ブルース・フェスティバルvol3のDVD！

輸入盤を買ったのですがリージョンフリーと言う事もあり超お買い得。

日本盤のほぼ半額かな。

日本盤は輸入盤に中途半端な解説つけるケースが多いからちょっとね。

内容はVOL. 1, VOL. 2 と同じようにブルースマン・ウーマンの

ヨーロッパツアー（まあドイツなのですが）をテレビ放映したときのもののDVD化です。

ボーナストラック扱いのマディ・ウォーターズバンドの演奏がカッコイイ。

シカゴブルース絶頂期の演奏が再現されている感じだ

リズムは落ち着き、バンドとしての音の厚みも充分あり

それにマディのスライドとヴォーカルが乗っていく。

シカゴ・ブルースといわず黒人音楽好き、ロックを聴いていてブルースとは？

と思っている人にもまあお勧め。（ただし10代にはまだ早いかな）

バディ・ガ이의若かりし頃もあるが口パク。

伝説のミュージシャンの躍動する姿を見ることができます。

個人的にはサニー・テリー＆ブラウニー・マッギーがびっくりかな。

ハウンド・ドッグ・テイラーが正装して歌っている姿もいいね。

ここに収録されている音源は他でも聞けそうなものもありそうですが、

画像付きは初ですから本当に貴重なものです。

しかしいい時代になったものだ。

昔はこのようなものはなかなかなく、あったとしても法外な値段だった。

日本のレコード会社はいい加減考えるべき。

国内版が映画（最近安いものもありますが）音楽ともに高すぎる。

くだらない宣伝に金かけすぎ。

これだけネットが発達しているのだから考えよう。

2004年10月31日-1

村田さんの141km

理屈ぬきに凄い

う-ん今考えても凄い

2004年11月1日、2日、3日 音楽とdvdのリージョンかよ！まあ本当に単なる日記だ。

11月1日

ピーター・ガブリエル プレイズ・ライブ

もうとっても古いライブなのですが、いまだ光を失わない。
本人の名前がついたアルバムを4枚出した後のライブツアーが音源。
当時、イギリスや日本（ほんの一部）ではその当時の分かりやすいロックからの脱却し
まったく新たな音を模索する動きが多かった。
ここでの新たな動きはアフリカに焦点をあわせたもの。
キング・サニー・アデが一気に大流行したのもこの頃。
音の肌触りは4枚目のアルバムにもあった冷たい肌触りのする
全体に薄いカバーをかけたかのような音です。
その当時のサウスバンク・ショーというイギリスのTV番組の海賊VHSが出回ったが
そこでの内容がこのころのピーター・ガブリエル音作りの工程だった。
シンセやミキサーに向かい音を作るスタジオワークスが公開されていた。
演奏は超ハイレベル。トニー・レヴィンのベース（スティックだったかな）
が全体を大きくささえバンド全体が歌を歌っているような感がある。
曲はベスト盤的選曲（とは言え4枚目からが当然多いが）。
ピーター・ガブリエルをはじめて聞いてみようかと考えている方にもちょうどよいかも。
ただし彼のアルバムは特に売れ線というわけではないのでなかなか安くならない。
昨年デジタルリマスタリングのものが出ています。
新たに購入するならリマスタリング盤のほうが絶対によいでしょう。
南アフリカのアパルトヘイトが崩れる前で、
それに関連した歌が最もスポットライトを当てられている。
この後に日本のジャパンエイド（国連大学設立のため）でやってきている。
おっさん達がステージ狭しとばかりにシアトリカルに動きまわる。
ハイレベルな演奏に加えなかなか、おっさん臭いが、おもしろい演出だった。
はまると超クセになります。
曲は個人的には「ソルズベリー・ヒル」がお勧め。
いくつかあるヴァージョンの中で最も聞きやすい。
とにかく緊張感あふれる中の素晴らしいライブ盤です

2004年11月02日

DVDのリージョン

果たしてどこまでが本当なのだろうか？

リージョン1と書かれていてもフリーであることが多い。

まあそれぞれの地域の販売会社の価格政策にあわせてと言う事なのだろうが

日本盤はあまりにも高い。ひどいと3倍だ。

音楽DVDの場合に日本語字幕の必要もほとんどないだろうから

何故にあの値段なのか意味不明

また日本盤が出る見込みがないものはフリーであったほうがうれしいのだが無理かこれは

日本のレコード会社のぼったくり体質は永遠に治りそうもない。

だから売れないのだ日本盤は。

どうやら手数料稼ぎだった日本盤**dvd**の国内価格。輸入盤の**2倍以上**・・・・・・・・この当時はひどかった。

2004年11月03日

ボブ・マーリー バビロン・バイ・バス

ボブ・マーリーの評判の悪いライブ盤です。

ちょうどこの頃高校生。リアルタイムで聞いたのがこの辺りから。

しばらくして脳腫瘍でボブはなくなってしまう。

パンクとレゲエの世界的連動（とは言え、イギリスと日本ぐらい）が言われたなあ（笑）

この当時出ていたパンクのコンピレーション10cmLPにもレゲエとの連帯があった。

パンクは比較的それ以前の音楽の動きを否定するかのよう動いていた。

そのなかで認めていたのがレゲエ。

例えば前出のLPはジョイ・ディビジョンもあればスティール・パルスもありと言う感じ。

ちなみにこれはライブ盤です。アナログしか持っていないので随分聞いていませんが。

まあそういう中で発売されましたと言うお話です。

話は脱線しましたが、このアルバムに含まれているパンキー・レゲエパーティは

パンクに対するボブの回答とか言う話題で評論家達が盛り上げようとしていた。

まあ聞き手にとってはそんな話ばかりの評論にはNOだったのですが。

このアルバムの評判の悪さはジュニア・マーヴィンのギターに基因するもの。

鳴りすぎて全体を崩してしまっているのですね。

ただこれはほんの表面的なこと。高校生の頃は逆にそれがよかったのですが・・・

音質はとてもよく聞きやすい。またバンドのリズムの粘りは最高！

アイ・スリーズとボブの歌も一体となり聞き手に迫ってくる。
選曲はこの当時のベスト盤状態。手軽に聞くにはもってこいかもしれない。
とはいえレーベルの販売政策のためか音の感じは全体的にロック的。
何だろう腰の粘りをわざと少し軽めにしてある感じがします。
ジャケットはアナログ再現のものも出たりしました。
アナログはいろいろ細工があり大きさも見るにしてもとても楽しいものでした。
音の感じを全体に少し丸くさせ、ギターの音を落とした感じでリミックスすれば
とても優れたレゲエのライブレコーディングです。
この当時の（1978年）のイギリスの音楽の動きを頭に入れて聞くととてもおもしろい。
しかしラブソングはいらないなこの人には。
戦いを忘れた獅子には興味がないので・・・・・・
内容は個人的には3.8点ぐらい。世間的には4点ぐらいかな。
誰かに借りてから買うのがよいかも。
う、レインボーシアターのライブ盤をいまだに買ってない。
ところで何故これなの・・・・・・何気掃除していたらでてきたので（笑）
今、久しぶりに聞いています

しかしまあ人間はなかなか進歩しないの典型例であるとも言える。
何年たっても本能的に好きなものは変わらない。

11月5日9日11日 まあ本当に日記だが、野球が中心。プロ野球は大きく変わりつつあったのね。

この時はダイエーホークスが大荒れで売却方向に流れていた時期だった。

結局、プロ野球全体がおもちゃにされていた感じが強い。いなくなってよかったね、というのが現在の状況。

ついでにこの時期は風邪をひいていたみたいだ

2004年11月05日

ダイエー再び大不祥事

またしても秘密の裏契約が露見してしまった。

球団売却についてはコロニーキャピタルが認めた相手にしかできないそう。

完全に外資の手に落ちているわけだ。

ということで野球協約違反の疑いが極めて濃厚。

外資がもってはいけないというのは

経済面だけで考えれば、協約のほうがおかしいですが

まあとりあえずはルールですから守らねば。

野球はルールあるスポーツですから。

しかしこの手の裏契約はまだまだ出てきそう。

ほとんど詐欺状況。

産業再生機構の原資は税金。

なんか国中をなめてるのか、高塚、中内両氏。

自己保身のために球団どころか税金まであてにする。

究極のクズだね。セクハラ野郎と、脳なしお坊ちゃん。

まあ本当にひどいコンビでしたとき。税金を盗まれた！

2004年11月09日

とうとう

ダイエー売却決定模様。

もうそろそろ落ち着いてほしい。

マネーゲームはもう結構。

野球をやろうぜ！！

まあひどい騒動だったこと！買い手がよかったというのが現在の状況（2010年）
プロ野球にはまだ神様がついていたとき

2004年11月9日-1

楽天が採るべき選手

エキスパンションドラフトを期待してはいけない。
だったら最初から主張すべき。男らしくない。
トライアウト組や戦力外からそこそこの選手をまず取ってチームの骨格を作ろう。
そのあとで東北出身で出場機会の恵まれない選手の譲渡をお願いしましょう。
このままでは、「やっぱりライブドアがよかったね」と言われるのがオチ。
地元密着という風情が全く感じられない首脳陣だ。
もっと腰すえろ。
捕手は全く問題外・・・・こりゃやばいぞ。
横浜の新沼はどうだい仙台育英高校出身。リード、守備面は一軍レベル。
斉藤隆も欲しかったらどうぞ
内野手これまた大変。横浜の小川、中日の酒井
この2人はまだやれると思う。
外野手。ちょっと層が薄い。巨人の井出、西武の大友が浮いている。
一場を抑えに持ってきて投手は総力で継投。
55勝できれば合格。
50勝切ったらセンス疑う。
後は目玉商品、客が喜ぶ選手を呼び、とりあえず客席を埋めよう。
カッコつけている場合ではない。
甘えを捨て真剣に考えよう。
仙台をはじめ、東北の方が何を望んでいるのかを。
誰もいきなり強いチームになるなんて思っていないはず。
西武もダイエーも当初悲惨だった。努力してみろ楽天球団。
今、既に真価を問われている

まあ、大きく変わっていくプロ野球の環境を結局、なんとなく運命なのかなんなのか買ってよかったね。

楽天が救世主になったことは間違いないが、まあこれは偶然だ。

2004年11月11日

風邪はつらい

風邪が治りきらない。

さすがに本日は打ち合わせがある午後2時過ぎまで睡眠。

自営でよかった・・・まあ時間は自分で決められる部分があるから

しかし逆に自分が倒れれば終わり。

ネット、メール、携帯のおかげでかなり楽ができています。

テクノロジーの発展は有難い。

しかし何だか治らないなあ、いい加減きちんと休もうと心に固く決めるのであった。

どうも、ひどい風邪をひいていたらしい。

まあ日記だね明らかに。

2004年11月12日と15日、まあ本当に日記ですね、とまあ人ごと。

まあ、やっぱり野球にいくなあ。だがやはりF1も出てくるが風邪がなかなか直らなかったみたいだ。

やはり日記だ。これは

2004年11月12日

一場投手

義援金300万円と新潟へボランティアに向かうらしい。

見直した。きちんと責任を取った。たいした奴だ。

応援しようと思う

うーん、このときは、期待の人でもあったが結局本人これが原因なのか花開かず。

明治期待のエースも壁にぶち当たる。

2004年11月15日

ジョーダン、トヨタエンジン獲得

ジョーダンチームが来季トヨタエンジンで走ることが発表された。

軽い復活劇だな。

予想通りチーム売却はせず、粘る。

日本人はちなみに乗る予定なし。

ちなみにジャガーチーム売却も正式に決定したようだ。

後日インディアナポリスとチェルシーの2箇所で同時発表の模様。

そうだったのか・・・・・・・・もう覚えていない・・・・・・・・

2004年11月15日-1

しかし風邪は治らない

つらいから帰ろう。

徒歩15分・・・・・・・・ピカード君転送してくれたまえ。

歩くのもいやだ。

今週は外出予定がほとんどだったのだが・・・・・・・・

やばい月末大混乱だ

体調悪かったのね。残念ながら・・・やはり日記だ。

2004年11月15日-2

マックスウェル アンブラグド

ニュークラシックソウルが一瞬はやった時の代表格の一人マックスウェル。

1枚目の「アーバン・ハング・スィート」が高評価を受け1部で大ブレイク。

(アメリカでは1枚目はプラチナディスク)

ファルセットがとても美しく、詩の内容から連想されるイヤラシサは感じない。

基本的に「アーバン・ハング・スィート」の一夜の物語を

そのままライブ演奏した感じ。

演奏力が堅実でレベル高く、この人の持つ繊細さをより光輝かせている。

とてもクールな演奏の中にマックスウェルの繊細な声が力強く乗り

説得力のある素晴らしい演奏になっている。

録音は97年5月でブルックリン・アカデミー・オブ・ミュージックにて。

かの有名なMTV「アンブラグド」の番組の録音です。

編成はホーンにストリングスを加えギターはアコースティック。

とは言え基本的にはアンブラグドというわけではない。

アンブラグドは流行したけれど・・・

本質がアンブラグドであらわせなければ当然プラグドもあるさ。

特にリズムセクションが手堅く表現が豊か、

ギターは目立たず引き立て役にしっかり回る

ミキサーはシャーデーを手がけたマイク・ベラ。

というわけで熱気が静かに燃え上がるようなクールな肌触りだ。

マックスウェル自身がプエルトリコと西インド諸島の混血ということもあり

通常のソウルミュージックとは違う味わいがある。

また世代が新しいこともありしばし角を感じる部分がある。

カーティス・メイフィールドから温かみを除き冷めた熱気を加えた感じかな。

とにかく、ニュークラシックソウル世代の傑作ライブといえる。

日本盤は「クローサー」のボーナストラック付。

まあこれは本当に名盤だったが。時代は常に変化する。

11月17日21日 風邪風邪風邪風邪風邪風邪プラモ。

よっぽどひどい風邪だったのだなあ……。そしてプラモ公開、1/12を山積み。馬鹿か俺は。

2004年11月17日

風邪がようやく治ってきた

地獄の日々から開放されそうだ。

年々強くなる風邪菌……………

そのうち人類はほろぼされてしまうのであろうか？

と思いつつスタートレック「ネメシス」を見る。

これ悪役の役者さんが他の映画の影響が大きくて

結構笑ってしまう部分がある。

やはり「オースチン・パワーズ」には参ってしまう。

ピカード艦長、スペースヴァンパイアに出ていたのね。

スペース・ヴァンパイアはなかなか面白い。

999円だから超お買い得。

これ見て「ゴースト・オブ・マーズ」見て

「エスケープ・フロムLA」見てから

バイオハザードは再びプレイしよう……。とはいえ散々制覇したのだが。

バイオハザードやったらスポンテニウス・コンパッションを見るのだ。

なんともはやホラーな親父だ。

妄想はやめて残業しよう。

しかしジョン・カーペンターは偉大だ。

ついでに遊星から来た物体Xと光る眼の2本立てを見よう。

まあ駄目だこりゃ。

2004年11月21日

大掃除途中のプラモ整理

とりあえず、箱に付いたほこりをサッサでふき取る。

1/20、1/24、1/12

なんてこったい大量のストックが・ ・ ・ ・

写真は1/12のタミヤ製のF1物。21台あった。

これ以外にも1/12は14,800円の641/2（フェラーリ）

MP4/6（マクラーレン）がある。

作ったとしても一体どこにおくのだ。

ここに来てそんな単純な事実気づくのであった。

大体ロータス72Dだけで3台・ ・ ・ ・アホです。

反省をしたのか掃除をしたようだが結局はあほでした。

11月22日と23日、あきらかに連休だな。しかし日記だ。

あからさまにこのときの連休の個人の日記だ。
まあなんだかちょっと・・・まあいろいろ。

2004年11月22日

今年のライブ（大げさな・・・）写真

今年の野球チームでの納会の時のセッションの写真です。
ベースが管理人。フェンダーのジャズベ使用です。
近くのギターが中野のブルースバー、ブライトブラウンのマスター
もう一本のギターは中央線ブルースの有名人。
ドラム（ちょっと喧嘩の真っ最中）は元（一時期）ウシャコダのメンバー。
納会のお楽しみバンドで気楽なセッションのつもりがはまる。
曲は何にするか連絡なし・・・いやな予感。
「次はキーはFでシャッフル」
この一言とギタリストのカウントのタイム感を感じながらセッション開始。
何故だ！・・・きちんと曲やるのか。
曲目教えてもらえず、適当にあわせる。
う！この曲は・・・この状態で仕掛けのある曲をやる。
「じゃあソロ回すから」・・・聞いてないってば！
仕方がないので適当にソロをとる。
「ジャコ・パスやれ！！」
毎日3時間練習していないとできるかそんなもの！
と思いながら適度に曲調にあわせソロをとる。
「ボロボロじゃねーか、」と思っていたら
聞いているほうは結構楽しかったらしく受ける。
適当にやった割りにはうまくまとまって聞こえたらしい。
やっている最中は冷や汗もの。
たまにはしっかり練習しておかねばと思いながらも果たせぬ日々。
ジャコ・パス完全制覇までにはまだ三合目。

Who loves ya,baby?

あほだね、これは。

2004年11月22日-1

エリカ・バトゥ ライブ

エリカ・バトゥのきわめて情感にあふれる素晴らしいライブ盤。

ニューヨークのソニースタジオでのライブ。

この当時妊娠中であつたため、日本公演が延期になった。

春の予定が秋になったが、しっかりやってきた。

新宿のリキッドルームでのライブも最高でした。

このライブで聴ける内容とほぼ同一。

他のライブがMTVでも放送されたようだが（ちょっとしか見ていない）

あの雰囲気そのままです。

演奏はとてもよく音の切れ味が最高によく

このバンドのセンスがよく現れている。

観客との掛け合いもクリアに聞き取れる。

特にベースの音の切れが滅茶苦茶カッコイイ。

1 s t のBaduizmが中心の選曲となっている。

途中、チャカ・カーンのStayをやるのだが

この演奏の迫力も凄い。声量があるのでとてもよい。

このころのいわゆるニュークラシックソウル全体にいえるが

肌触りはあくまでもクールなつくりになっている。

実際のライブはもっと熱気を帯び、

とてもスケールの大きいものでした。

（演奏が大仰ということではなく、実質の内容）

連れの女性がエリカの母性を感じ

「この人のライブは何度でも見たい」

とっていました（今の妻ですが）

演奏のしまり具合といい録音のよさといい最高水準のものです。

興味のある方は是非！超お薦めです。

まあ、人それぞれ・・・・・・・・。

2004年11月23日

横浜ベイスターズ、ファン感謝デー

本日は横浜ベイスターズのファン感謝デーでした。

ちょっと寝坊したために

最後の30分ぐらいしか見られませんでした。

年々入場者が減っているなあ・・・

3年連続最下位じゃあね。

とは言え選手を目の前で見る機会は、

そんなに多いわけではない。

1年に1度の楽しみです。

入場料は無料。なかなかよいです。

写真は大魔神、佐々木投手、そしてその先には川村投手です。

大魔神は子供とのキャッチボール。毎年おなじみの企画です。

その後しばらくしてから近くで即席サイン会。

本当にあっという間に黒山の人だかり状態になりました。

このときメーンのインタビューは、金城、相川、村田、古木選手でした。

写真撮影会場には種田選手、多村選手、斉藤隆投手、小田島捕手

そして左腕の吉見投手。多村選手はネットの外のファンにもサインをしていました。

今年のファン感謝デーは選手が一生懸命ファンサービスしている感じでした。

そして最後は「1万人のタネダンス」と名うったイベント。

グラウンドにいる人たちで種田選手の打撃ファームを真似し上下動。

今年一番チームへの貢献度が高かったのは種田選手です。

ファン全員がそれを感じています。（佐伯選手も凄かった）

来年は最下位脱出するでしょう。というか今の戦力で最下位って？

まあ一番の問題は楽天球団に去りましたので来年はいけるぞ。

がんばれベイスターズ

まあ写真は駄目だろうから、なし。

うーん11月も終わった。

2004年12月5日17日19日・・・まあなんだろうびっくりしている。

ブログ記事が検索対象になっているということに気づかされたのがこの頃のようなのだ。
いきなりアクセスが増えていてその原因を探るとという感じだ。
まあ確かに視聴率的なところもあるのかもしれないと思わず思ったころだ。
だが結局は人の興味を引くとか人のためになるということが大事ということで・・・まあ初心忘れべからず。

2004年12月5日

しかし

ずっと書き込んでいなかったのですが
意外とアクセスがあってびっくり！
一部の書き込みがyahoo,googleで検索されるからのようだが・・・
今5つサイト管理しているので確かにyahooやgoogleに検索されることの重要性はよくわかっています。
しかしほとんど日記と暇つぶしに近いサイトでも検索されることにネットの面白さがある。
野球とF1のサイトはとりあえず1日最高3800アクセスあったりして
1年で約40万アクセスあったのですがこれを維持するのは超大変です。
更新をサボるとyahooの検索に引っかからなくなり
アクセス数は一気に70%減ります。
また1位と2位では大体倍違います。
面白くなければというのはネットもテレビ同じなのですね。
しかしほとんど趣味の域を超えているみたいだと人に言われる今日この頃。
だけど商売にはしないよ・・・人と出会う楽しみがなくなってしまうから。
本当はたまに心が動くのだが・・・金の奴隷には絶対にならないぞ

2004年12月17日

必殺のdvdバカ買い

FDやCD-Rを買いにヨドバシカメラへ行く。
ついでに4階へ
3枚約3600円でFOXのBEST50販売中だった。
というわけでダイハード2.3、エイリアン、2010年を購入
気がつくと100枚は間近のような雰囲気だ。

やばい金がないのになにをやっているのだ自営業。

2010年久しぶりに見るなあ。

2001年とは違いどちらかといえバリラックスした中に物語が進む。

というよりもロイ・シャイダー主演ですから当然わかりやすい。

キューブリックの前作は少々古さがあるもののあの独特の肌触りは変わらない。

（昨日工作中パソコンで見ていたのだ）

2010年はあの肌触りは当然ない（監督が違うから当たり前）

まあ大学生の時、学校サボって新宿で一人でみた記憶がある。

まあサボるには丁度よい映画だった。

ちなみにあまりにひさしぶりなのでストーリーはよく覚えていない。

夜、女房に隠れてコソコソー人で見よう！！

ちょっと楽しみだな。

明らかに馬鹿だな。ケーブルで見ろ！といたくなるが結局海外ドラマやスポーツの方が面白い
現実・・・・・・・・

FDやCD-Rを買いにヨドバシカメラへ行く。

ついでに4階へ

3枚約3600円でFOXのBEST50販売中だった。

というわけでダイハード2.3、エイリアン、2010年を購入

気がつくと100枚は間近のような雰囲気だ。

やばい金がないのになにをやっているのだ自営業。

2010年久しぶりに見るなあ。

2001年とは違いどちらかといえバリラックスした中に物語が進む。

というよりもロイ・シャイダー主演ですから当然わかりやすい。

キューブリックの前作は少々古さがあるもののあの独特の肌触りは変わらない。

（昨日工作中パソコンで見ていたのだ）

2010年はあの肌触りは当然ない（監督が違うから当たり前）

まあ大学生の時、学校サボって新宿で一人でみた記憶がある。

まあサボるには丁度よい映画だった。

ちなみにあまりにひさしぶりなのでストーリーはよく覚えていない。

夜、女房に隠れてコソコソー人で見よう！！

ちょっと楽しみだな。

2004年12月17日-1

超びっくり

昨日110アクセスだった。

なにもやっていませんのですが・・・

忙しさもそろそろ休みに入るから

一旦終了かな。

しかし5月末までの地獄をなんとかせねば

バイトは募集しても来ないし参った。

当分の間、体を張るしかないか。

なんだかわからないうちに。。。と思ったようだがこの当時と現状は大きく変わってきている。

ブログ人口などこの頃は少なかったのだな。

まあそのうちどうなっていくのかなど全然わからないが、まあ・・・・・・・・素人は素人ということ。

2004年12月19日

アクセス増加の背景

なんと2ちゃんねるの模型スレッドの中の

「積んどくだけのモデラーにならない」（でいいのかな）

に直リンされていたのね。

光栄といふかなんというかアホを全国にさらしましたな。

そのうちアホ第二弾を掲載いたします。

次は1/20と1/24のF1モデルだな。

本当に今、考えてもまさしくアホです。

2004年12月25日 30日・・・2004年も終わる。この頃はまあさしく青い。まあだけで1年近く書いているとまともにもなるのだ、ということもわかった。

とうとう役所に対する切れ系の記事が出てくる。

ブログの役割でこういった部分もあるような感じはある。

政治家が使い始めたころかな。今ではツイッターのようだが・・・・・・・・・・ どうでもいいか**140**文字でいいのか・・・

2004年12月25日

大阪市職員の脱税と税の不正な使い込み

大阪市職員の紳士服及び婦人服の支給が話題になっています。

これは現物給与をめぐる問題なのですが、税には実質課税の原則というものがあります。

これは実質的に誰が税の負担者なのかということで、

所得という面で考えれば実質的にその益を受けたものが税負担をすべきだという考え方です
(ちょっと簡単すぎる説明ですが)

大阪市の名前を刺繍することにより制服扱いを狙い

所得税及び住民税の課税を免れたか否かが問題になります。

この場合各個人が採寸をしそれに基づき一着一着個人別にイージーオーダーとして服を作ったことが問題になります。

各個人が採寸した段階で他の方が着る可能性はありえないでしょう。

ということはその服はその方に対して支給される物品であり現物給与として支給されたと考えるのが当たり前です。

民間企業がこれをやれば必ず課税されます。

課税されないのはあくまでもその仕事を遂行するために必要な服

すなわち規定で定められた制服、作業衣に限定されます。

また、給与所得者の場合給与所得控除額というみなしの経費があり

そのみなし経費の範囲に当然紳士服も含まれるという考え方になります。

ただしみなし経費の範囲を超える支出があった場合特定支出控除として確定申告することができます。

このように給与所得者の課税に関してはしっかりとした規定があり

給与所得控除額というオマケもついています。

また社会保険料も半額会社側（この場合役所側）負担であり、

雇用保険等についても会社側に負担があります。

すなわち非課税の給与が実質大量にあるわけです。

そのうえ紳士服、婦人服とは異常としか言いようがありません。

ちなみにごまかした所得税、住民税はおそらく一人当たり5000円前後でしょう。
ただし1000人いれば500万円です。20年間で1億円ですか・・・
14.6%の加算金、及び重加算税も払っていただきましょう。
民間と役所は税法上どうやら違う扱いを受けられるように大阪はなっているのね（爆笑）
正直、思い切ってバカ扱いさせていただきます。
地方へ税源を移せという議論がありますが所詮地方公務員は・・・・・・
まあ税金を盗むのが仕事のような連中に金渡す必要ないでしょう。
ちなみに国家賠償法の適用範囲になると思われます。
六法全書を立ち読みするなり検索するなりしてください。
簡単な法律なのです。
ちなみに相手は特定する必要がないというのが法律家の見解です。
（有名大学の法学部教授と弁護士に確認済み）
大阪市及び大阪市職員に対して大阪市の方は賠償を求めることが可能です。
またこれが事実でありながらも国税局が課税しない場合
みんなで服すべてに会社名の刺繍を入れましょう。
税金は取られない給与ということになりますから。
あーアホ公務員働くのがいやならとっとと辞めろ。
仕事なくて困っている人たちのことなんか分からないだろう。
ところで失業者の気持ちが分からない地方公共団体が行う失対事業は
要するに官製談合の温床になっているということなのだろう。
しかし2重3重に税金ネコババすることばかり考える連中だ
大阪市職員は「泥棒」扱いに決定ということにしましょう

地方に金を渡す行為の「おそろしさがここにある」の実例だったわけだがどうやら今も変わっていない模様。
痛みを知らない人間が痛みを知る前に適度に立場や地位を得てしまうことに大きな問題があるのだろう。
おそらく中規模以上の都市は疑惑の目で一旦は見て精査してからいろいろ考えるべきなのだろう。
これが小規模になると1人2役だとか手弁当状態がでるようだ。
中途半端に人が集まった町は最も危険ということだろう。
もともと地元意識もないだろうしね。すんでいる土地や地域を愛する行動がない国になってしまった日本
この先そうなるのだろう。利権主義がますますひどくなっているように感じるのは誤解か正解か？

2004年12月30日

しばらくは静かだ

この季節いつもながら東京は人が減ります。

どこにいても人が少なくて楽です。

とは言えどこにも行かない私は得意の神社回りと七福神めぐり

さあて来年の七福神は2003年以来の雪の行軍になりそうだ。

年末だ。 **2004**年も終わる

投稿しばらくお休みのあとの**2005年3月**のブログの前半戦。いやあ、文章が若いような・・・

お久しぶりの編集です。

この当時もまた「お久しぶりの投稿です。」がタイトルだった。2005年3月8日

いやあ、まあなんでしょう。人間って変わるね間違いなく。

基本姿勢は同じでも年齢とともにの変化はやっぱりあるね。

で、3月8日の投稿

世の中は何だかどこも争いだらけでとっても なんだか嫌な感じがします。 人が人を支配するって 一体全体どういう考えなのだろうか？ ボブ・マーリーが彼の「WAR」という曲でその辺りを鋭く突いています。 何か機会があったら聞いてみてください。そして考えてみてください。 シニード・オコナーがボブ・ディランの25周年アニバーサリーライブで大ブーイングを浴びました。理由は彼女がキリスト教を批判したことにありました。ボブ・ディランがユダヤ教からキリスト教に改宗をしたためファンがこの宗教が好きな人が多かったからなのでしょう。そしてそのときに涙しながら歌ったのがこの「WAR」です。人が人を支配することそしてそれを試みることはどんなことでもそれは戦争なのだとすることを歌ったのです。いまさまざまな争いが世間をにぎわしています。彼らは一体全体何を求めているのだろうか？ 一気に封建制の時代にまでさかのぼってしまっているかのような感覚の襲われる。日本が平和だったのはいい意味でも悪い意味でも人を思いやる気持ちが常にあったからだと思う。そしてこのことが経済的な繁栄ももたらしたのだと思う。一部の人間だけが潤う社会は絶対におかしい。もしこのブログをお読みになったら税制がどのような形でおかしくなっているのかを調べてみてください。あからさまな状況なのです。実は。現政府はあきらかに新たな階級制度を作ろうとしているかのごときの動きをしています。税金がたりない・・・そりゃそうだろう金持ちは大減税なのだから。税金がたりない・・・法人税也大減税。税金が足りない・・・事業税も減税だ。要するにお金持ちは全て減税なのです。税金が足りない・・・消費税を上げろ 税金がたりない・・・社会保険も税でまかなえ！ 要するに間接税をとるということは預金ができる人達は大減税なのです。生活にお金が必要な一般人は取られ放題なのです。ちなみに欧米で間接税の比率が高いのは過去の民族問題がいまだに尾を引いているからです。同じ国でありながら常に違う民族同士戦っていた歴史があるから直接税が取れないからなのです。直間比率見直し論は要するに新支配階級を作るための謀略に過ぎません。今の世の中は残念ながら「金が全て」になってしまっているのです。何とかせねば

でこの翌日も何気に出る出るの税務調査の話題

「1600億円の申告漏れ」2005年3月9日

なかなか大胆な解釈の差だ。これは多分申告した側は確実な判断をせずに安易な考えでやったためか、アドバイスした人間がいたとすればそのアドバイスした人間が浅はかだったと言うことなのだろう。とは言えまだどうなるかはわからないし国税局が必ず正しいとまではいいきれない。

ひとつ言えることは簡単な確認と金額が大きいだけに調べられたときを想定した場合の考えが足りないということだろう。恒久的資産（家や土地）が日本国内に本人所有のものがあまた扶養家族が日本にいてそれに対する資金を提供している場合は日本の居住者とみなす可能性があることはかなり簡単に法律に書かれています。また海外に住んでいるということは日本国内には半年以上滞在することは根本的にありえないといえるような条件である場合があります。またかの国とは租税条約がありお互いの国の認識によって課税国を決めることができる文言が入っています。ただ本人判断の申告とすればどうして外国税に詳しい方に相談しなかったのかが大失敗の元だ。金額が大きいから誰かには相談しているとは思いますがもし相談してかつその料金を支払っているのであればこりゃ損害賠償請求か・・・うわあ専門家責任で全額賠償となれば・・・どうするのかなあとてもこの件については興味がある。どちらが正しいのかしっかり裁判を通じて争ってほしいですね。

しかしまあ呑気に寝ずに動きまくっていたころだな

「今週はまだ」2005年3月11日

10時間寝ていない。さすがに顔色がやばい。

うーん仕事が忙しかったのかな？

まあそんなところだろう。だから病気になるのだが・・・

そして、同じ日2005年3月11日

「ティム・デンシャム」うーむ、懐かしいぜ！！私はF1バカ

ティム・デンシャムで検索をされてこちらのブログにいらっしゃる方が多いので簡単な情報を現在もルノーに在籍。他チームへの引き抜きには応じなかった。ルノーの現マシンR25は彼の作品といってもよい感じでしょう。ルノーのマシンは継続して前年の正常進化型マシンとしての開発が続いている。今年早いのは別にいきなりの大変身と言うわけではないです。ベネトンからチームを買い取りそのイギリスベースのチームをそのまま尊重し残しそしてそのチームを信用し何年もかけてここまできたのです。他チームの頭脳を引き抜くだけが能ではないのです。日本の大規模な投資をして参戦しているだけのチームとは違う。いずれにせよトップがしっかりモータースポーツを理解していることがルノーの躍進を支えている。某チームは会長職などのポストをすてて現場のトップの顔がしっかり見えるようにするのが大事だ。某トヨタチームは日本人の某会長を首にするのが一番やるべきことなのではないかと思うが・・・ちょっとひどすぎるねあのチーム。宣伝だけがうまくてもね・・・

そして翌日3月12日の土曜日、景気付けだぜ！！

「アーバン・リニューアル タワー・オブ・パワー」

タワー・オブ・パワーの初期の傑作 石油は地中にはたいしてないのだ (Only So Much Oil In The Ground) というオイルショック当時を思わせる曲から始まる。ちなみに1974年・・・30年前だ。当然リアルタイムでは聞いておりません。知り合いのところで何気に聞き覚えのある曲が・・・おっ！いいなあ、買おうと思いながら 何か釈然としないものが・・・これ持っているような気がする。積上げCDと自宅の数箇所に分散保管しているCDを探す。あった・・・いい加減キチンと整理しなければ時々発見するダブリCDをなくすことをやらねばと思いはや8年。遅々として進まぬこの作業。のりのよいファンクネス溢れ、勢いのある曲が進む 大傑作というわけではないがこのカッコよさと充実した演奏 特にベースのロックは独特の音で迫ってくる。何も知らずに聞けばジャミロクワイの新譜に聞こえます（どういうことだ?!）しかし今日の気温は16度だと・・・地熱かそれともオイルがふきだしてくるのか・・・！

うーむ、体を熱くさせて前向きに働く！！そんな感じだったのだろう。きっと・・・

翌3月13日・・・時代をこんなに短期間で感じるようになるとはね。

「X-FILES」

ビッグカメラでボックスセットが期間限定で半額で売っていた。ディアゴスティーニからDVDシリーズが出たから在庫処分をしているのだろうか DVDが安くなるとTVは見ないということです。と思っていたらなんてことはないfoxが大安売りはじめているのですね。995円盤だ・・・

今ではこれでも高いとされる価格で当時は衝撃の価格だったね。

時代は変わる。